

協会けんぽ静岡支部の加入者における疾病傾向分析 R2年度版

はじめに

本疾病傾向分析は、静岡県健康福祉部健康局健康政策課健康企画班の協力のもと、「令和2年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」のデータを用いて、当支部加入者のみについて標準化該当比を算出し、市町比較をしています。また静岡県全県（協会を含んだ市町国保、健保組合等合わせたデータ）と比較したものです。左側の地図が協会けんぽ加入者のみのデータです。

【抽出条件】

1. メタボリックシンドローム該当者
2. メタボリックシンドローム予備群
3. 肥満者
4. 糖尿病有病者
5. 糖尿病予備群
6. 高血圧症有病者
7. 高血圧症予備群
8. 脂質異常症有病者
9. 喫煙者
10. LDL 180以上かつ喫煙者
11. 尿蛋白（+）以上該当者

【抽出条件の詳細】 ①

- ◎メタボリックシンドローム該当者：男性腹囲85cm以上、女性90cm以上かつ、次の3項目のうち、2つ以上が該当
 - ①中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用中
 - ②収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用中
 - ③空腹時血糖110mg/dl以上、またはHbA1c6.0%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用中

- ◎メタボリックシンドローム予備群：上記と同様で、3項目のうち、1つに該当するもの

- ◎肥満者：次の3項目のいずれかに該当する者
 - ①BMI25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上
 - ②BMIのみ25以上
 - ③腹囲のみ男性85cm以上、女性90cm以上

- ◎糖尿病有病者：空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c6.5%以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用中

【抽出条件の詳細】 ②

- ◎糖尿病予備群：空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満、またはHbA1c6.5%以上。ただし、インスリン注射
または血糖を下げる薬を服用していない者

- ◎高血圧症有病者：収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用中

- ◎高血圧症予備群：①収縮期血圧130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧90mmHg未満である者
②収縮期血圧140mmHg未満、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満であるが、
血圧を下げる薬を服用していない者

- ◎脂質異常有病者：中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはLDLコレステロール
140mg/dl以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用中

- ◎習慣的喫煙者：合計100本以上、または6か月以上吸っている者であり、最近1か月間も吸っている者

- ◎LDL180mg/dl以上かつ喫煙者：左記のとおり

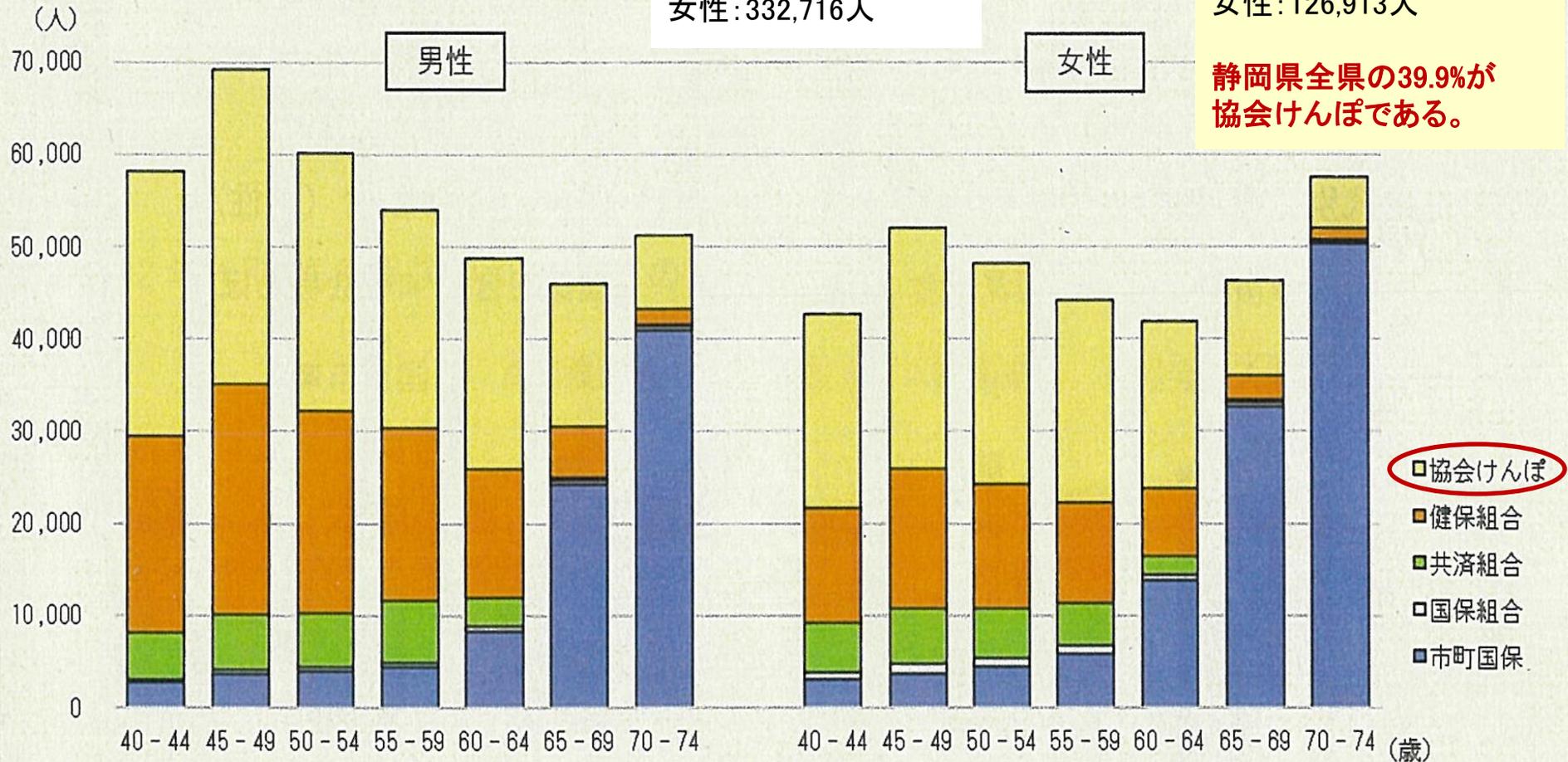
健診受診者数（分析対象者数）内訳

図1 健診受診者数（分析対象者数）

静岡県全県720,053人
 男性：387,337人
 女性：332,716人

うち協会287,309人
 男性：160,396人
 女性：126,913人

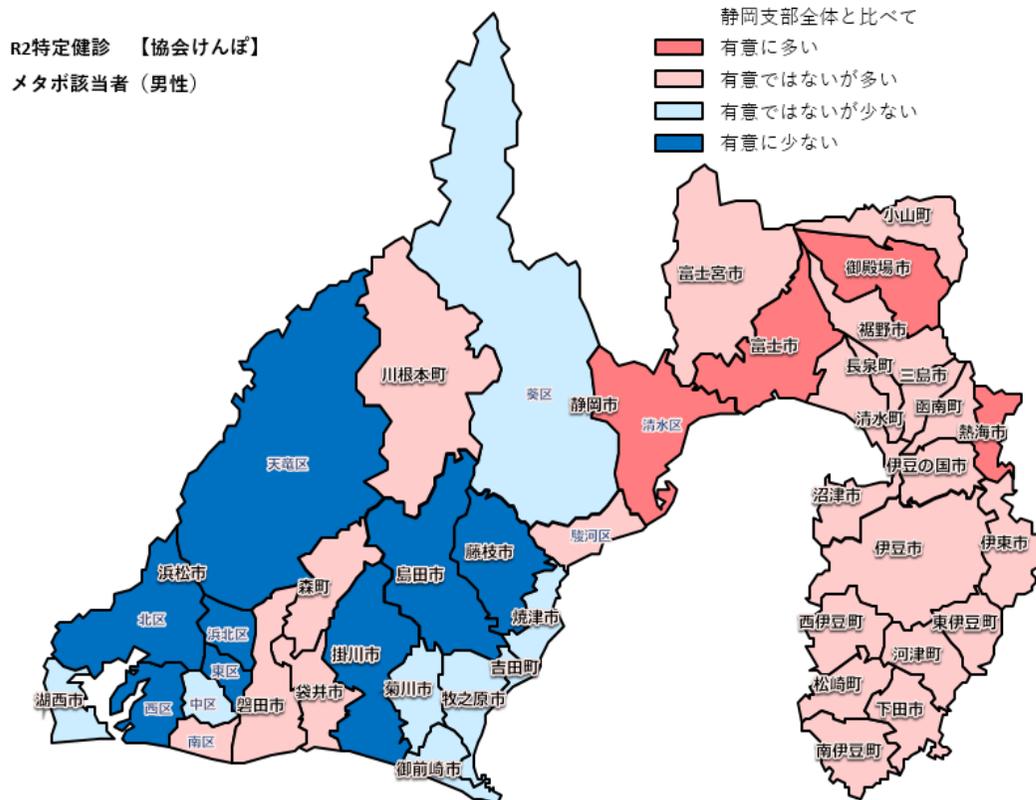
静岡県全県の39.9%が
 協会けんぽである。



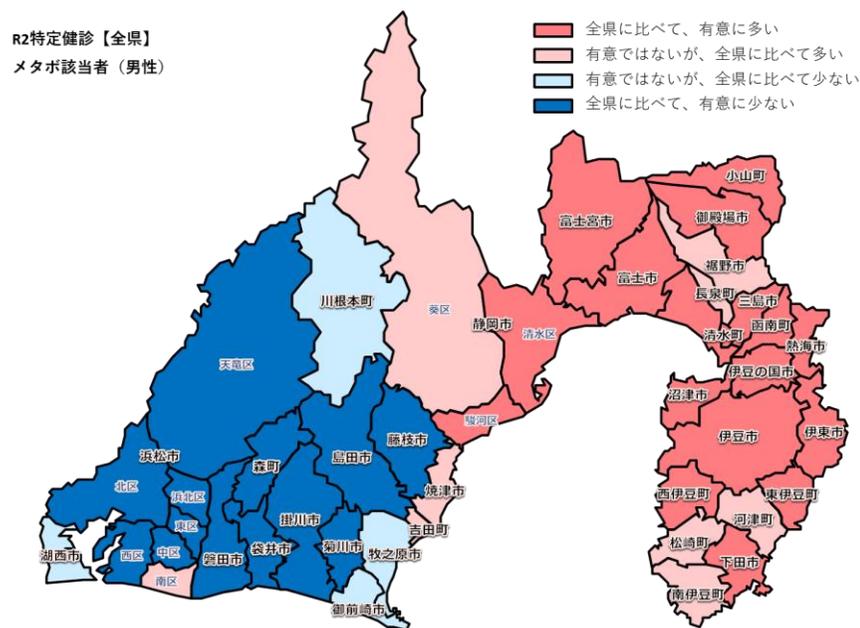
1-① メタボリックシンドローム該当者（男性）

◆協会：該当率は23.14% 前年度比+1.5%であり、増加率は前年度+0.68% 東部の市町では全県に比べて多い傾向にある。中でも、有意に多い市町は県と同じであり、女性と同様清水区以東に該当している。清水区は男女共に高い傾向にある。清水区の該当率は24.87%で、対前年比+2.01%であり、協会増加率より高い。有意に少ない市町は中西部のみにある。協会は、有意ではないが多い市町は、地域問わず存在する。

◆静岡県全体：該当率が24.19%であり、協会より若干高い。前年度比+2.06%であり、協会の対前年比より高い。県全体は静岡県の中央より西で二極化している。



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

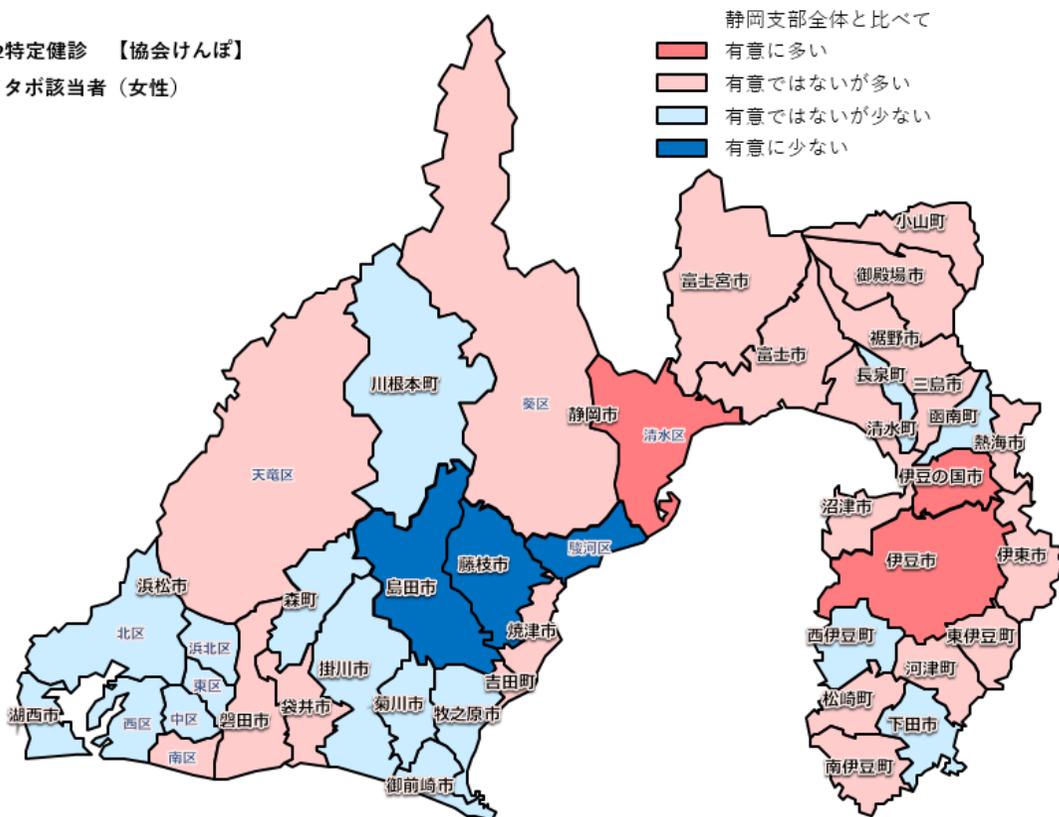


1-② メタボリックシンドローム該当者（女性）

◆協会：該当率は5.71% 前年度比+0.37%であり、昨年度の対前年よりとほぼ同じである。東部の市町では全県に比べて有意ではないが、多い傾向にある。また、有意ではないが少ない市町は、比較的西部に多い。男女とも有意に少ない市町が、藤枝市、島田市である。男性よりは有意に多いまたは少ない市町が少なく、平均化の傾向にある。

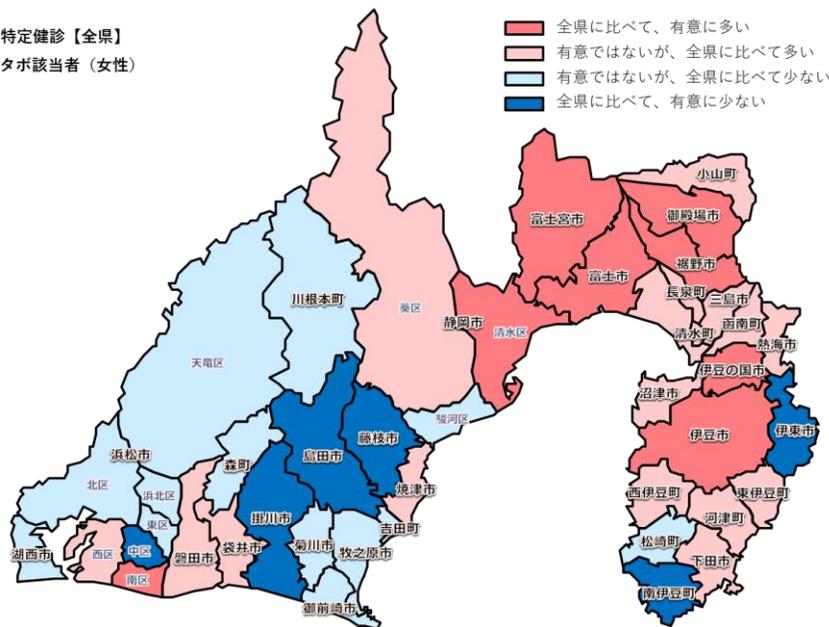
◆静岡県全体：該当率が7.48%であり、協会の方が低い。有意に多い市町は、静岡県全体でも同様である。清水区以東で、全県に比べて多い又は有意に多い市町が多く、いわゆる西低東高の傾向にある。

R2特定健診 【協会けんぽ】
メタボ該当者（女性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

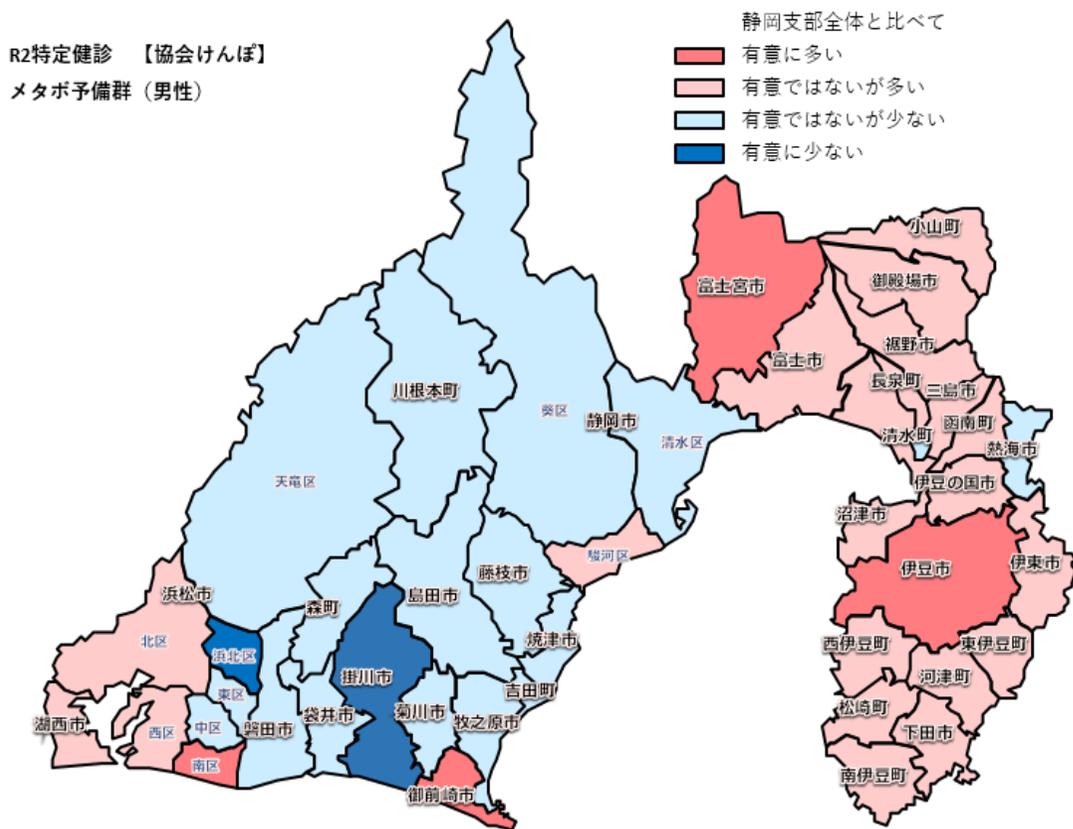
R2特定健診【全県】
メタボ該当者（女性）



2-① メタボリックシンドローム予備群（男性）

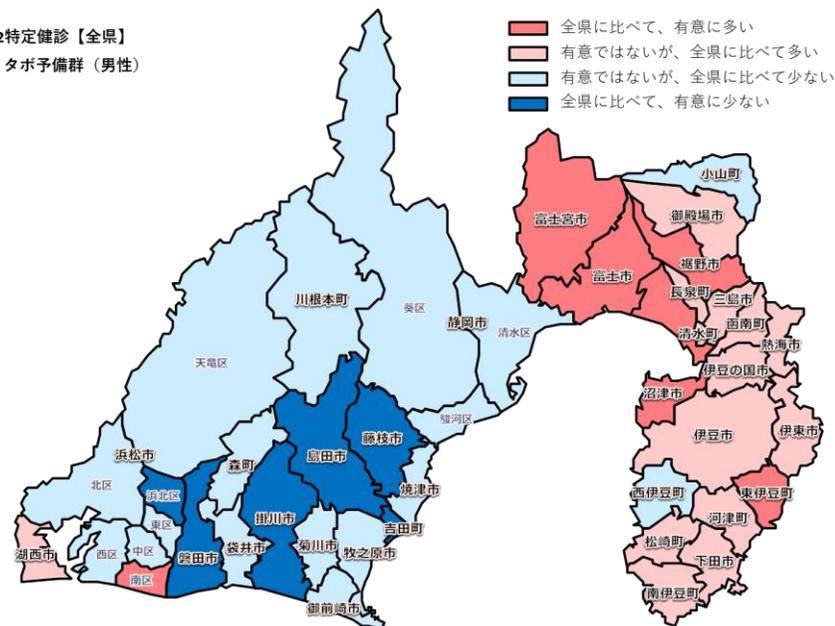
◆協会：該当率は17.15% 前年度比+1.5%であり、増加率は昨年度より0.8%高い。メタボ該当者と同様、東部の市町では全県に比べて多く、中～西部の地域が低い傾向にある。メタボ該当者に傾向は似ているが、有意に多いまたは少ない市町が少なく平均化している。今年度は県と同様南区も有意に多い。御前崎市は有意に多く、静岡県全体は有意ではないが少ない状況と乖離している。

◆静岡県全体：該当率が16.55%で、若干協会の方が高い割合である。前年度比+0.35%で、協会の増加率より低い。いわゆる西低東高で二極化し、昨年度より有意に多い及び有意に少ない市町が減っているので、昨年度より平均化している。



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
メタボ予備群（男性）

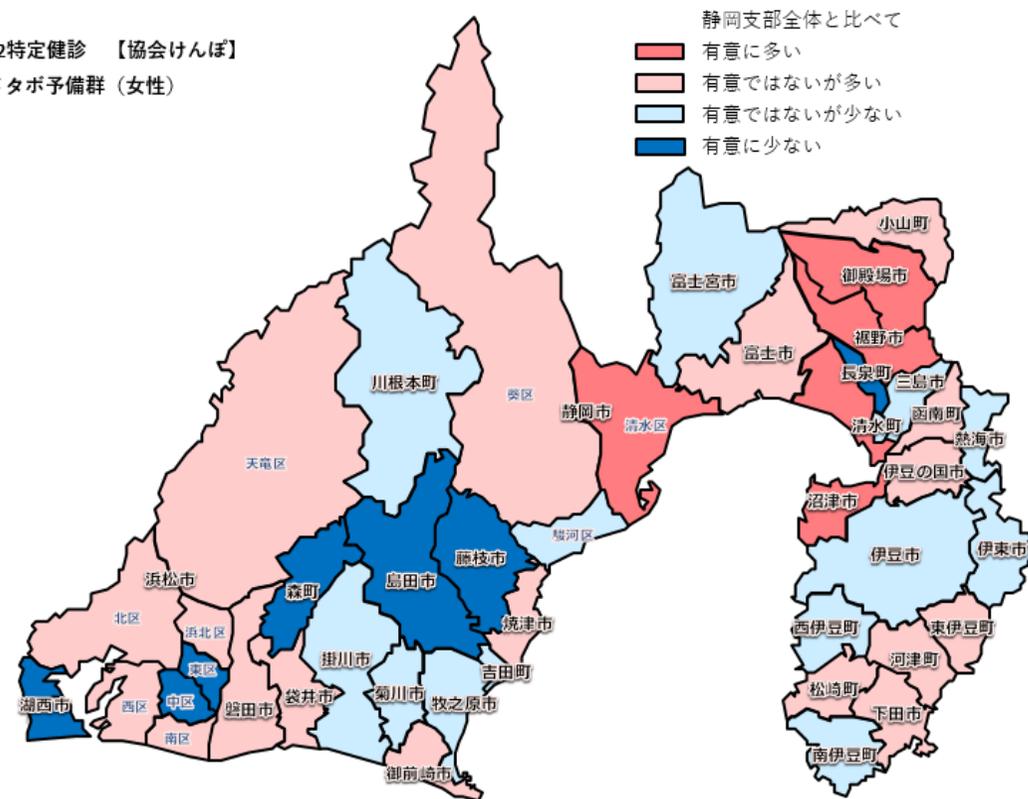


2-② メタボリックシンドローム予備群（女性）

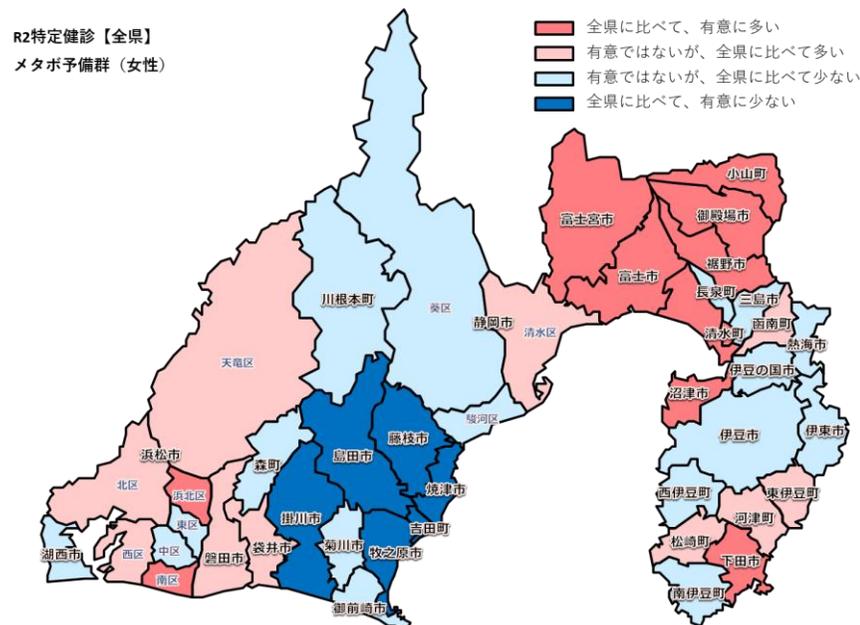
◆協会：該当率は5.23% 前年度比+0.07%であり、ほぼ横ばいである。増加率は前年よりやや低い。結果にばらつきがあるが、有意に多い市町は清水区以東である。しかし、有意ではないが多い市町と有意ではないが少ない市町が、静岡県の全体に散らばっている。メタボ該当者とほぼ同水準で、清水区の女性は予備群、メタボ該当者両方有意に多いが、予備群の割合は昨年度より0.15%減少している。

◆静岡県全体：該当率が5.00%であり、協会の方が高い。前年度比+0.13%であり、増加率もほぼ横ばいである。有意ではないが多い市町が県内に散らばっている状況である。焼津市が逆の傾向である。

R2特定健診 【協会けんぽ】
メタボ予備群（女性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

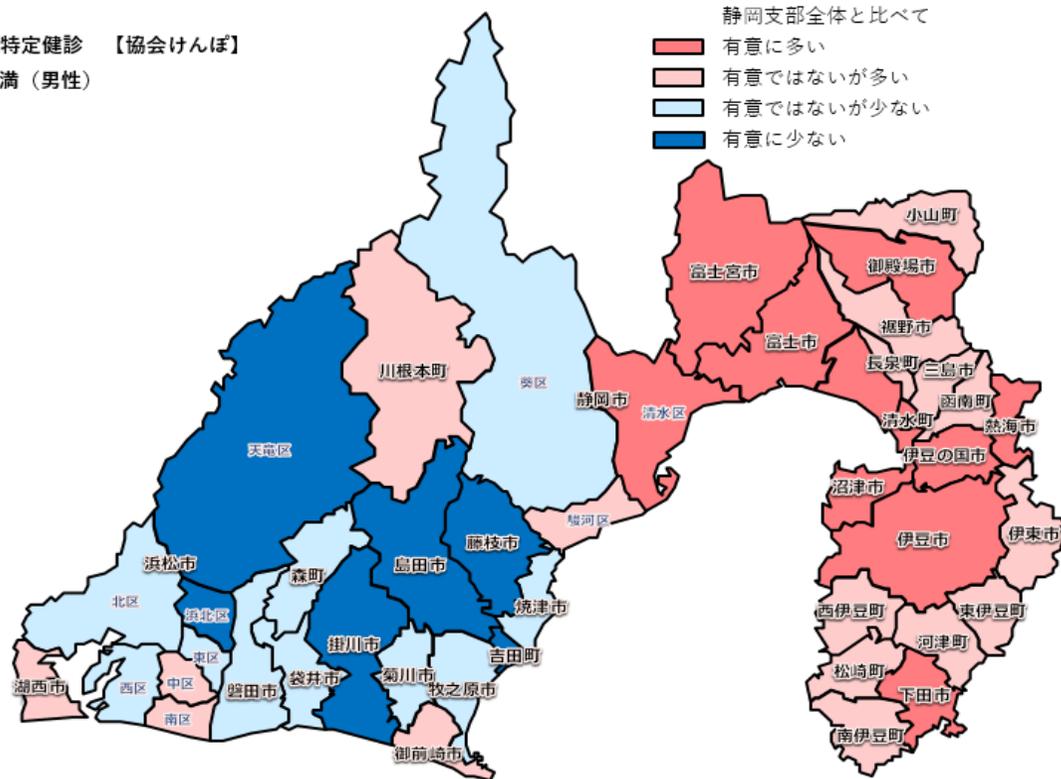


3-① 肥満者（男性）

◆協会：該当率は51.61% 前年度比+1.33%であり、昨年の増加率より少し高い。特に富士宮市、清水区の増加率が、それぞれ+1.78%、+1.65%と協会平均より高い。昨年度と似た傾向で、いわゆる西低東高であり、全県に比べて有意に多い市町は清水区以東に多い。有意に少ない市町が山沿いの市町に多い。メタボリックシンドローム該当者と似た傾向である。協会は静岡県全体より有意に少ない市町が少ない。県西部でも、有意ではないが多い市町が散らばっている。

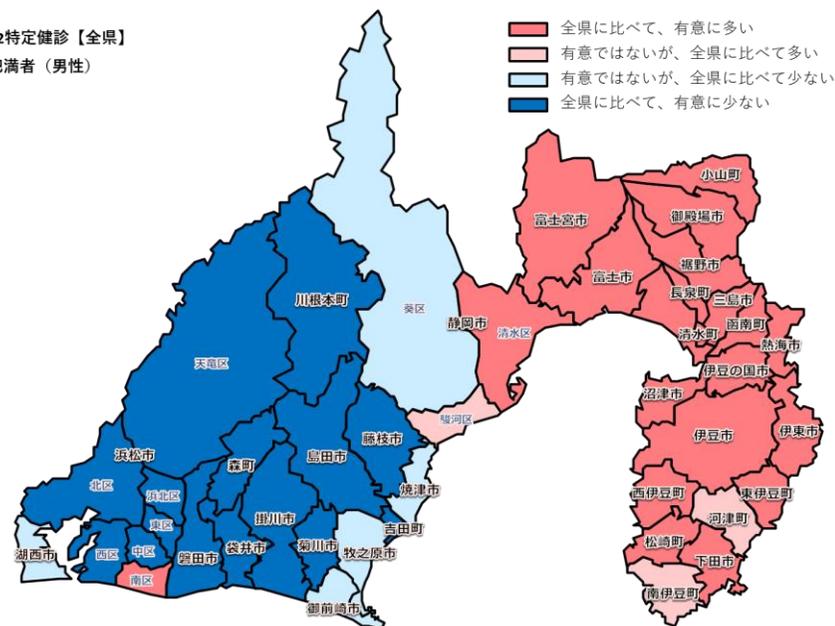
◆静岡県全体：該当率が51.15%で、前年度比+1.25%であり、協会の増加率より低い。該当率は若干協会の方が高い。いわゆる西低東高で二極化している。

R2特定健診 【協会けんぽ】
肥満（男性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
肥満者（男性）

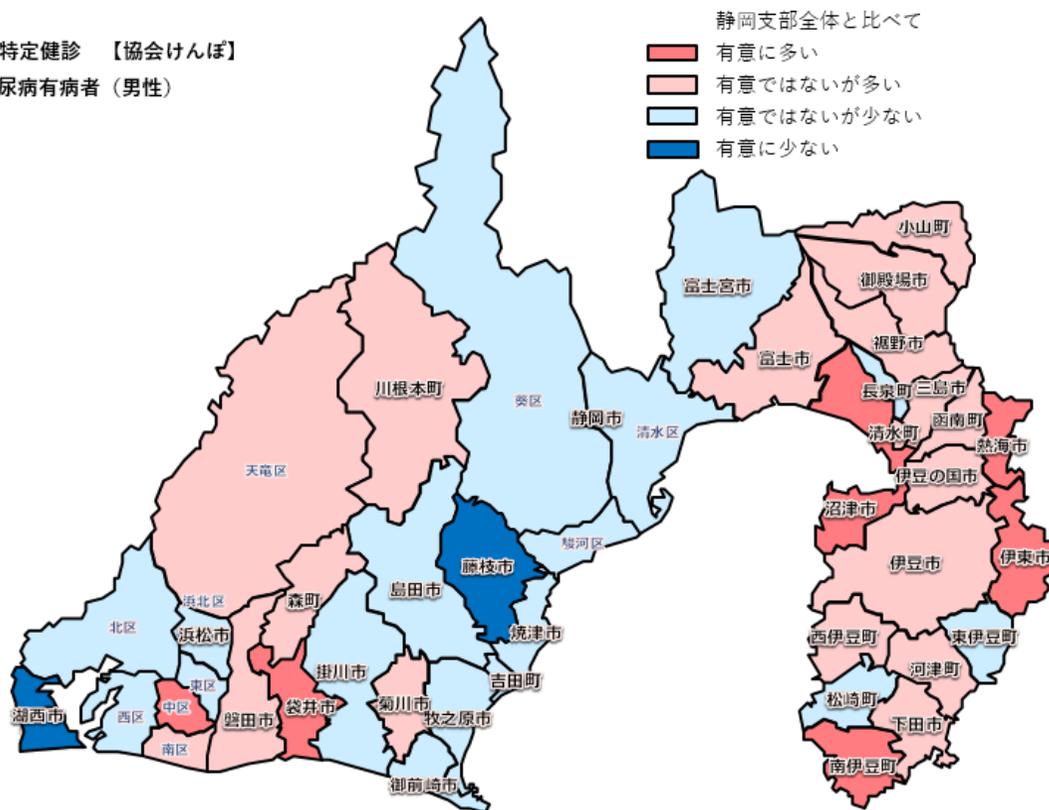


4-① 糖尿病有病者（男性）

◆協会：該当率は13.18% 前年度比+1.08%であり、昨年より増加率が0.4%高い。特に沼津市の該当率は14.92%で、対前年が+1.19%、中区が14.32%、+1.45% 熱海市が19.68%、+2.11%と高いので、今後注目していく必要がある。また県の東部に有意ではないが多い市町が多く存在し、中部に有意ではないが少ない市町が多く見られ、西部は、全種が混在している。静岡県全体と違い、有意ではないが多い市町が中部地域にはない。

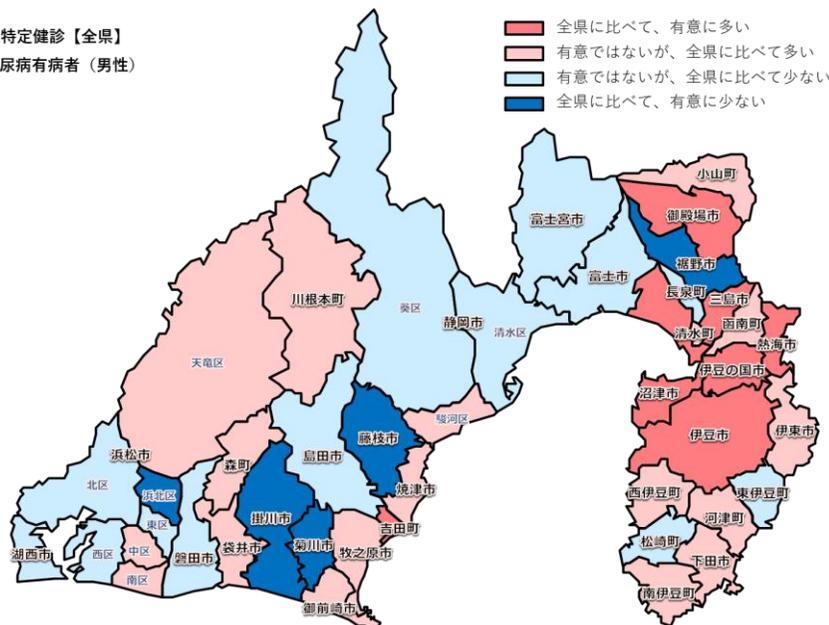
◆静岡県全体：該当率が13.28%で、前年度比+0.45%であり、協会の増加率より低い。該当率はほぼ同じである。有意ではないが多い市町が、静岡県全体に散らばっている。

R2特定健診 【協会けんぽ】
糖尿病有病者（男性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

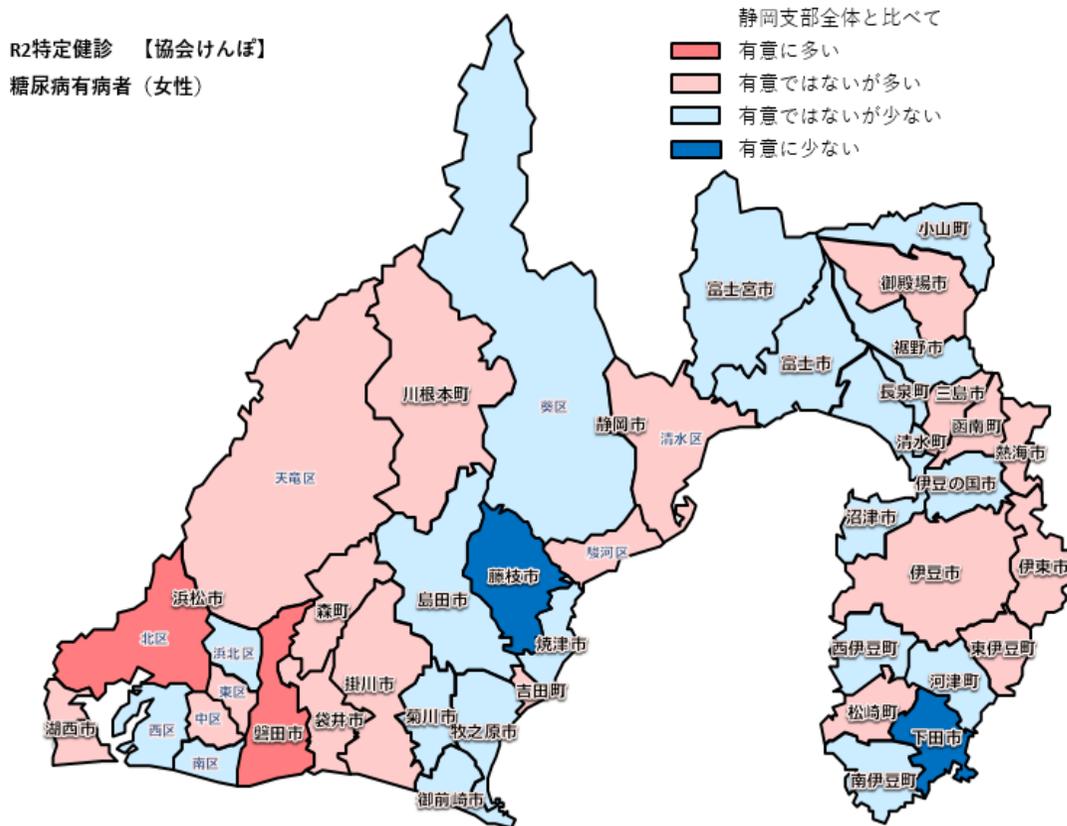
R2特定健診【全県】
糖尿病有病者（男性）



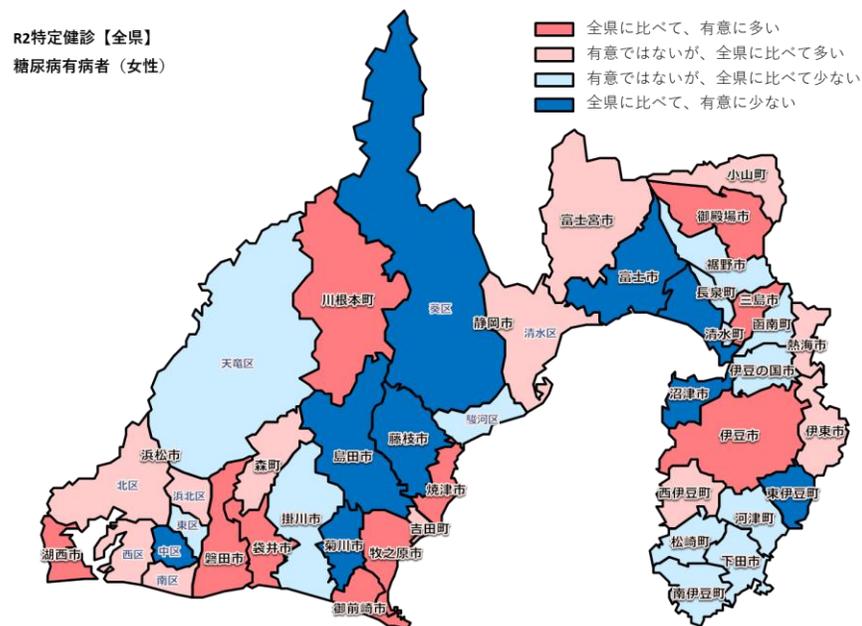
4-② 糖尿病有病者（女性）

◆協会：該当率は4.99% 前年度比+0.36%であり、昨年度より増加率が横ばいである。特に磐田市の該当率は5.87%で、対前年が+0.57%、北区が6.16%、+1.15%と平均より高い。昨年度と比べて、有意に多い市町が減ったこと、また静岡県全体と比較しても有意に多いまたは少ない市町が少なく、平均化している傾向にある。藤枝市は男女とも、有意に低い。

◆静岡県全体：該当率が6.32%で、県全体の方が1.33%高い。前年度比+0.13%であり、協会の増加率より低い。全体的に有意に多いまたは少ない市町が混在している。



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

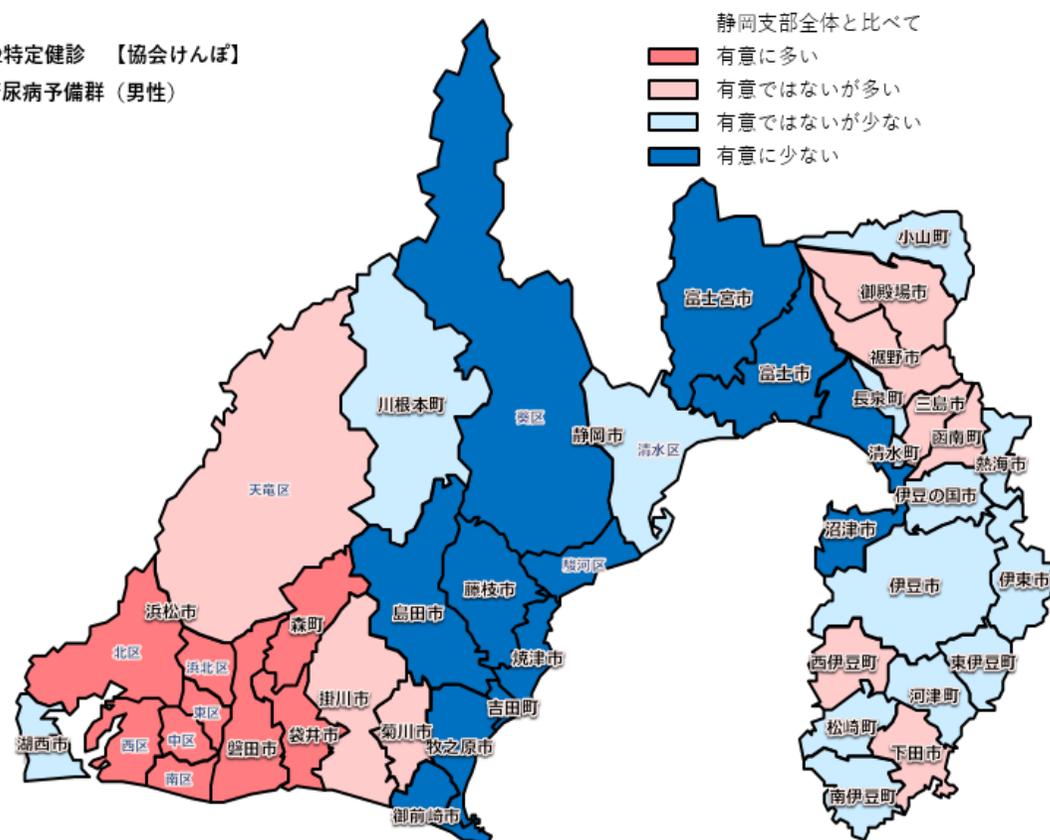


5-① 糖尿病予備群（男性）

◆協会：該当率は11.86% 前年度比+0.16%であり、昨年度増加率より0.45%低くなっている。特に東区の該当率は13.94%で、増加率+0.73%、西区が14.54%、+0.64%と平均より高いので、今後注目していく必要がある。昨年度から傾向に変化は見られない。いわゆる西部に有意に多い市町があり、県中央部に、有意に少ない地域が、固まっている。中区は有病者・予備群とも有意に多い。

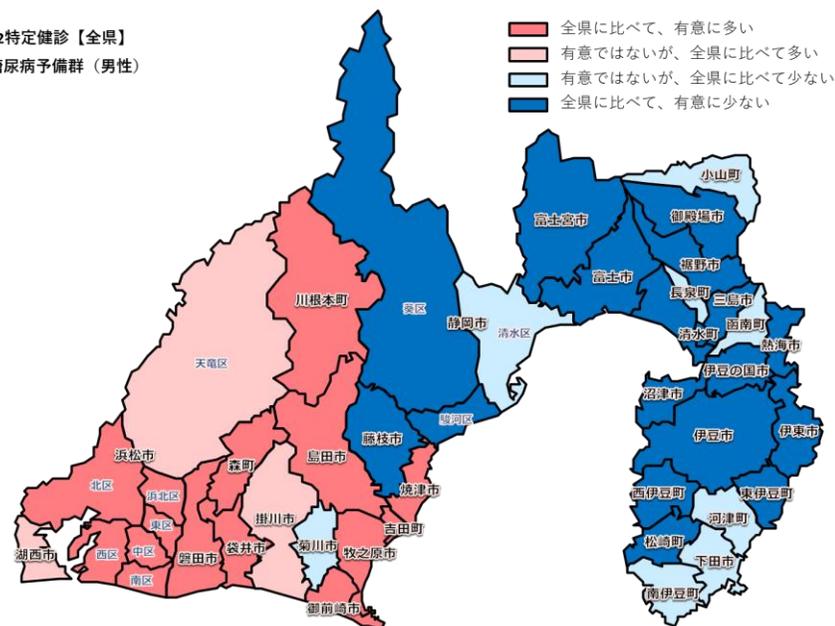
◆静岡県全体：該当率が13.36%で、県全体の方が1.5%高い。前年度比+0.08%であり、協会の増加率より低い。全く同じ状況が藤枝市である。いわゆる志太榛原地域が、県とは真逆の状態である。また、東部伊豆地域も県全体と違って、有意に少ない市町がなく、平均化している。

R2特定健診 【協会けんぽ】
糖尿病予備群（男性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
糖尿病予備群（男性）



5-② 糖尿病予備群（女性）

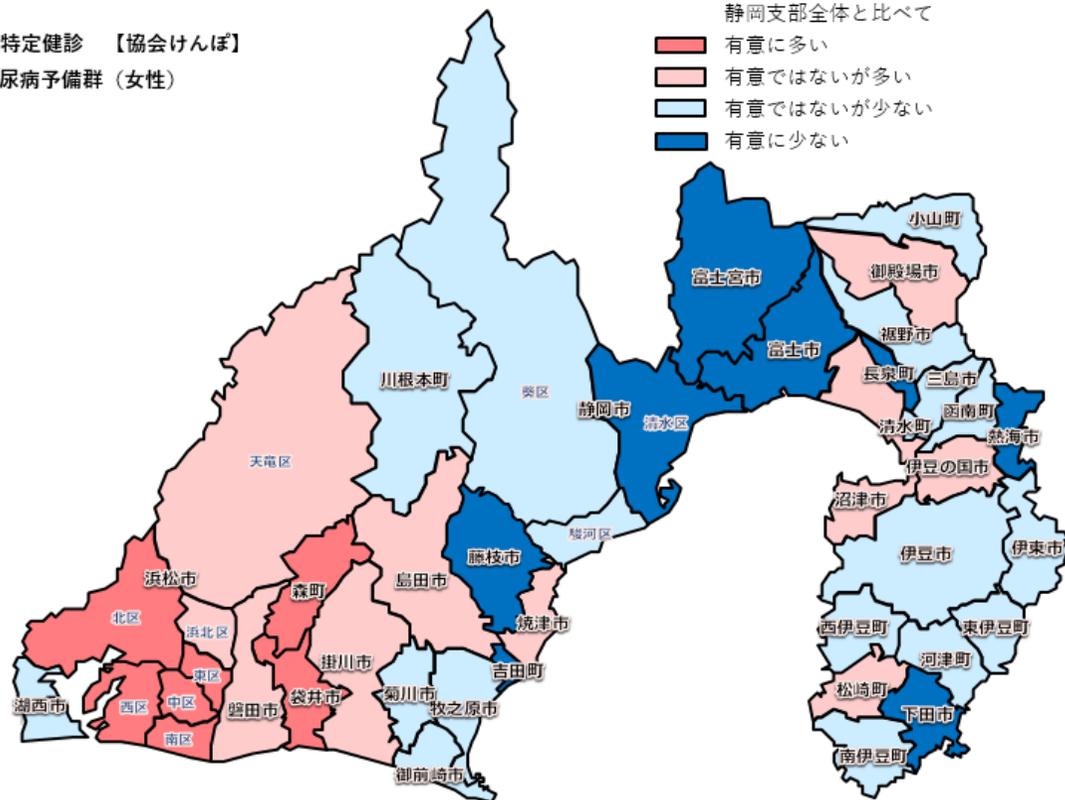
◆協会：該当率は7.49% 前年度比-0.12%であり、昨年度より増加率は低下している。有意に多い市町も全般的に該当率が減少している。ただし、該当率は南区で11.24%, 中区で9.51%と協会全体比約2～4%高い。藤枝市は男女とも、有意に低い。下田市は有病者・予備群ともに有意に低い。静岡県全体と傾向は似ているが、二極化はしていない。

◆静岡県全体：該当率が10.33% 協会より2%以上高い。前年度比-0.54%で、協会より増加率は低下している。中部を中心に二極化している。

R2特定健診 【協会けんぽ】
糖尿病予備群（女性）

静岡支部全体と比べて

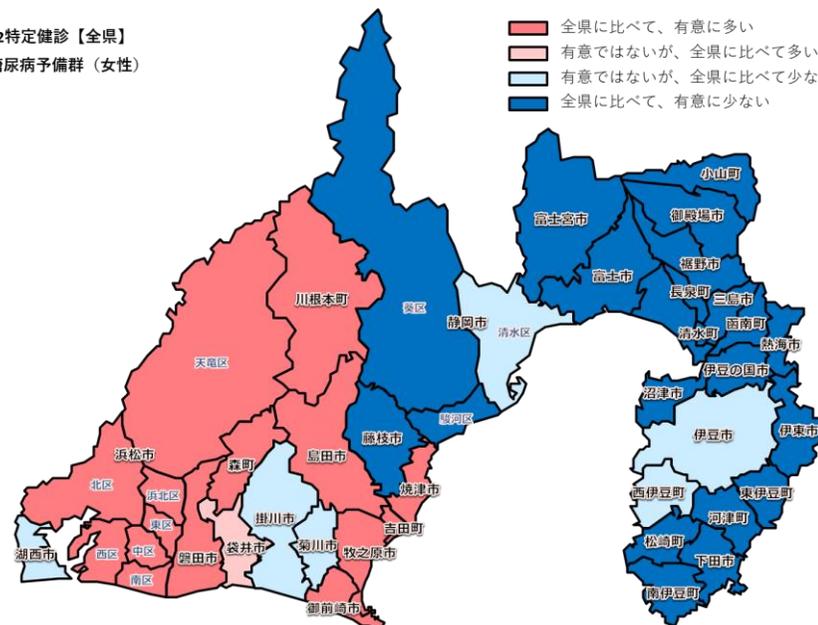
- 有意に多い
- 有意ではないが多い
- 有意ではないが少ない
- 有意に少ない



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
糖尿病予備群（女性）

全県に比べて、有意に多い
有意ではないが、全県に比べて多い
有意ではないが、全県に比べて少ない
全県に比べて、有意に少ない



6-① 高血圧症有病者（男性）

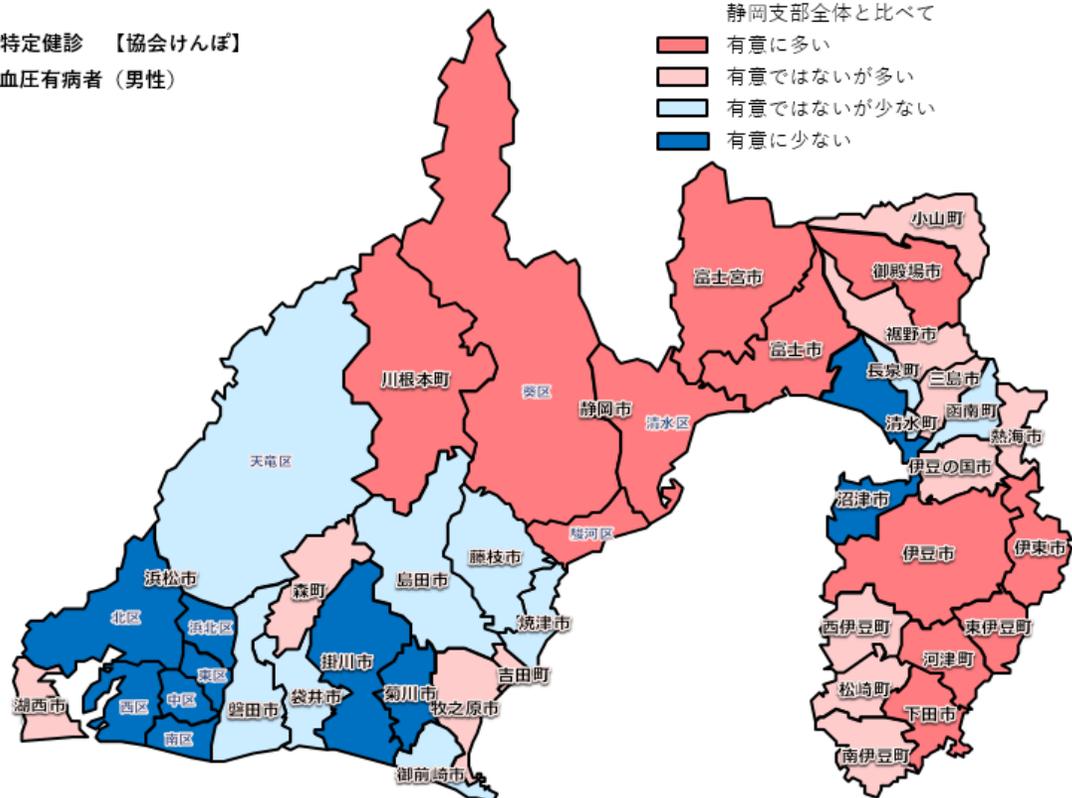
◆協会：該当率は39.43% 前年度比+2.8%で、前年度の増加率より+1.86%で、年々増加している。特に駿河区の該当率は42.17%で、対前年比+3.25%、富士市が41.27%、+3.19%と平均より高い。昨年度から傾向に変化は見られない。いわゆる西部に有意に少ない市町があり、県の中央部と伊豆に、有意に多い地域が、固まっている。協会は沼津市では有意に低い、静岡県全体では有意ではないが多く、焼津市は有意ではないが少ないことに対し、静岡県全体では有意に多くなっている。昨年度は県全体の該当率との差が協会は2.56%低かったが、今年度は1.54%低い状況であるので、静岡県全体との差が徐々に縮まっている。

◆静岡県全体：該当率が40.97%で、協会より該当率は1.54%高い。前年度比+1.78%であり、協会増加率より低い。

R2特定健診【協会けんぽ】
高血圧症有病者（男性）

静岡支部全体と比べて

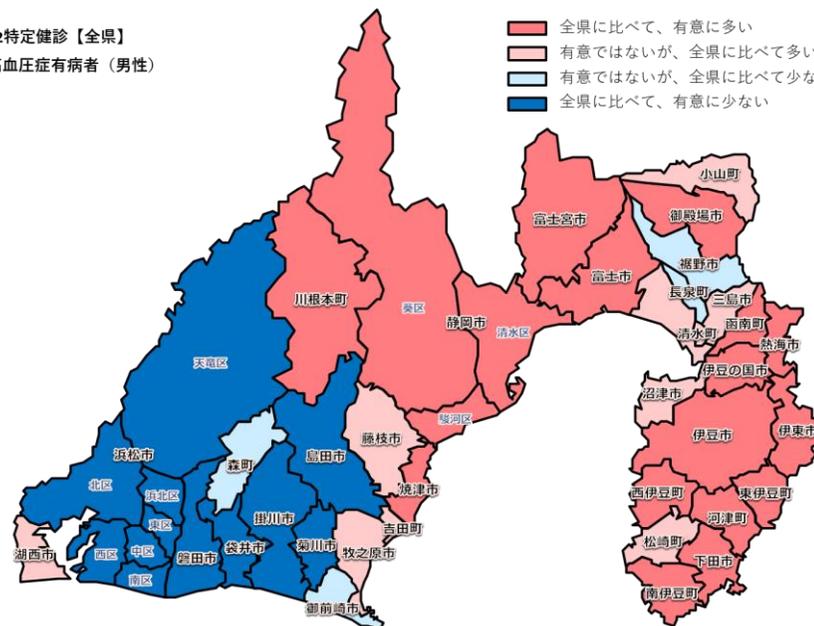
- 有意に多い
- 有意ではないが多い
- 有意ではないが少ない
- 有意に少ない



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
高血圧症有病者（男性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

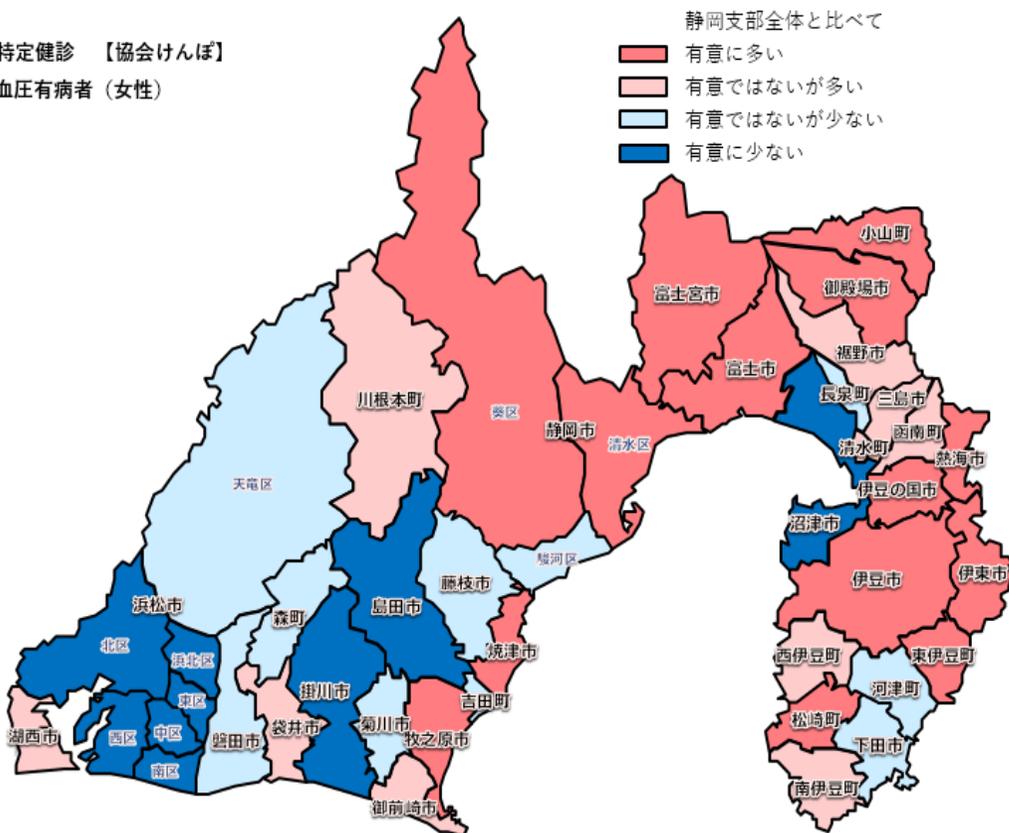


6-② 高血圧症有病者（女性）

◆協会：該当率は24.52% 前年度比+2.96%であり、昨年度の増加率より2.46%高くなっている。特に葵区の該当率は26.42%だが、対前年比+3.43%、清水区が27.35%、+3.01%と平均より高い。県の中部と伊豆に、有意に多い地域が、固まっている。静岡県全体と似た傾向ではあるが、県全体ほど二極化はしておらず、有意ではないが多いもしくは少ない市町が、県内に散らばっている。

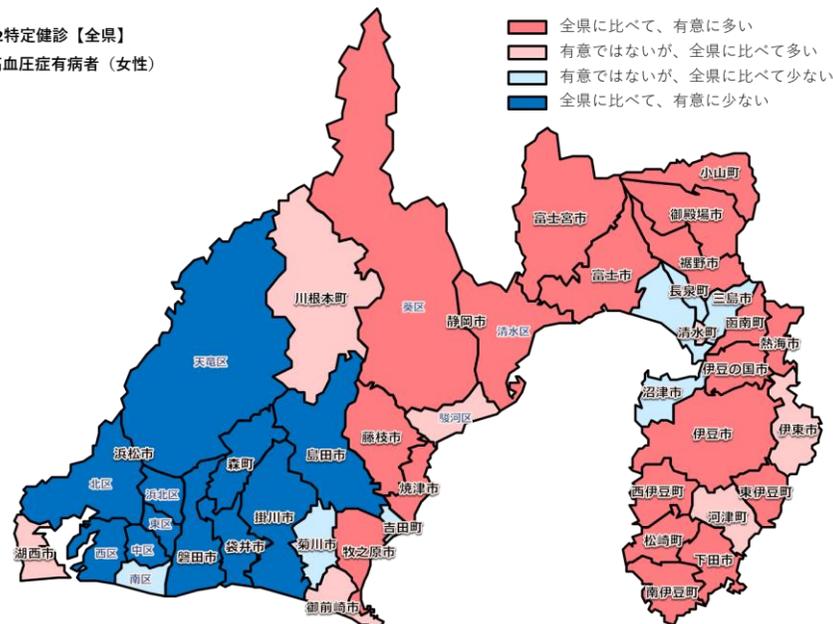
◆静岡県全体：該当率が30.29%で、該当率は協会とは昨年同様6%以上乖離している。前年度比+1.66%である。県全体の方が増加率はより1.3%低い。

R2特定健診【協会けんぽ】
高血圧症有病者（女性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

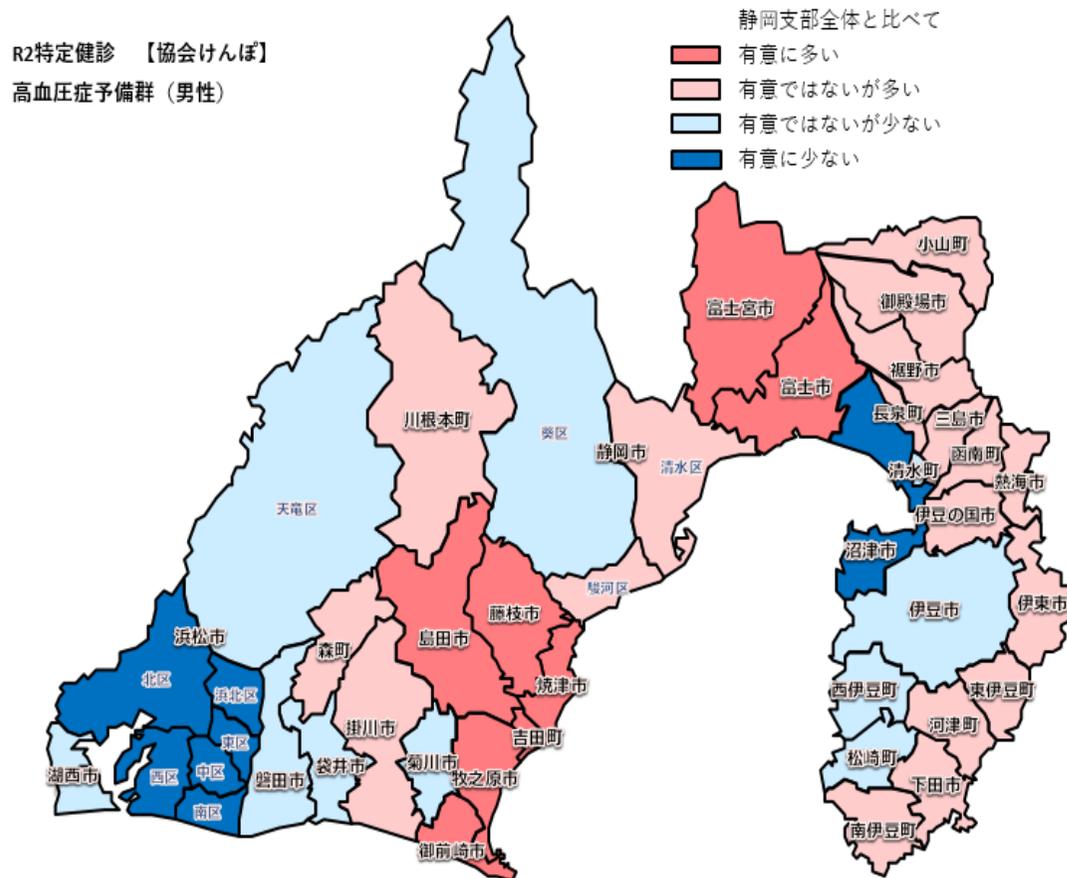
R2特定健診【全県】
高血圧症有病者（女性）



7-① 高血圧症予備群（男性）

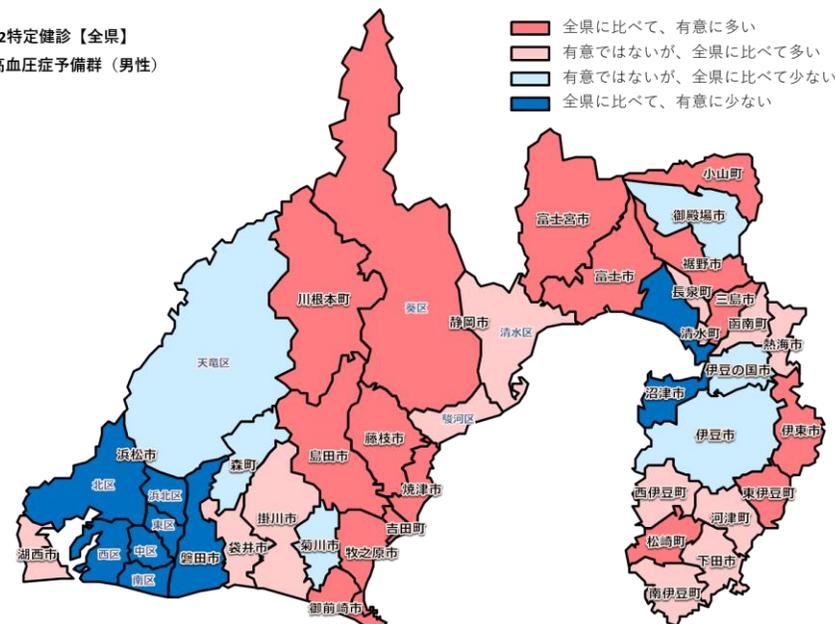
◆協会：該当率は12.60% 前年度比-0.1%であり、昨年度の増加率、傾向に変化は見られない。有病者と同じ状況で、有意に多いのは富士市、富士宮市。有意に少ないのは沼津市と浜松市の天竜区以外の6区である。島田市、藤枝市、焼津市は高血圧有病者では、有意ではないが少ないが、予備群だと有意に多くなっている。葵区が協会では有意ではないが少ない状況であるが、静岡県全体では有意に多くなっている。分布は静岡県全体と似ている。

◆静岡県全体：該当率が12.16% 前年度比+0.15%で、協会より該当率は低いが、増加率は高い。



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
高血圧症予備群（男性）



7-② 高血圧症予備群（女性）

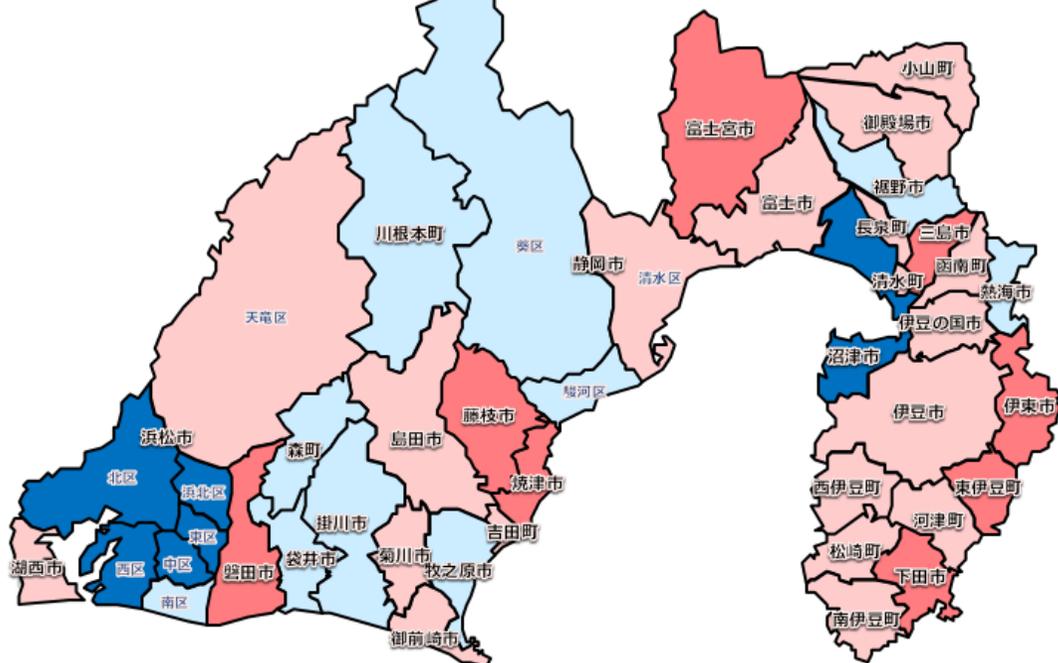
◆協会：該当率は9.67% 前年度比+0.35%であり、昨年度の増加率より0.17%上昇。昨年同様傾向に変化は見られない。沼津市と浜松市5区が有病者・予備群ともに有意に少ない。また、伊東市、東伊豆町、松崎町、富士宮市、焼津市は有病者・予備群ともに有意に多い。該当率は伊東市で11.43%、対前年+1.86% 富士宮市で12.14%、対前年+1.57%と協会全体より約2%高い。静岡県全体と同じ結果の市町も多数存在しており、似た傾向にある。

◆静岡県全体：該当率が10.49% 前年度比+0.48%で、該当率及び対前年は協会より高い。

R2特定健診 【協会けんぽ】
高血圧症予備群（女性）

静岡支部全体と比べて

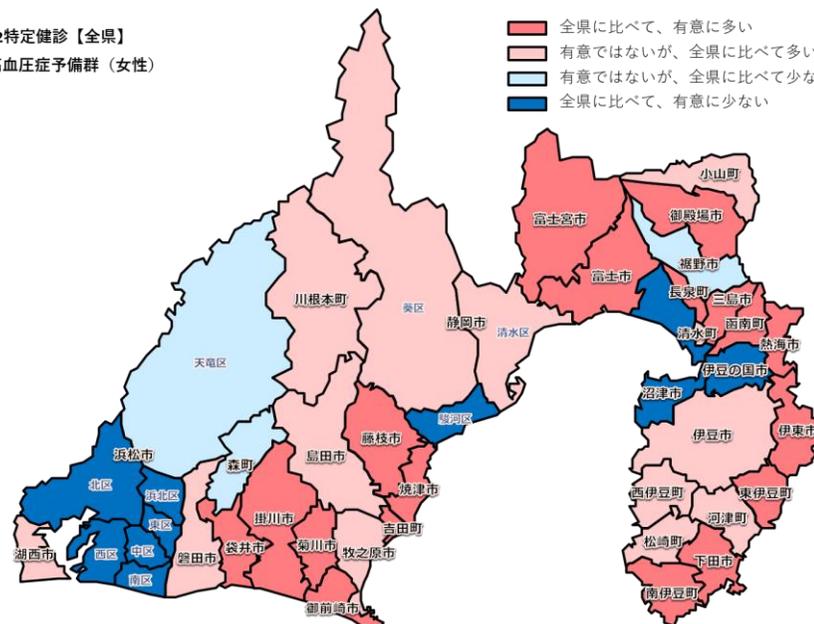
- 有意に多い
- 有意ではないが多い
- 有意ではないが少ない
- 有意に少ない



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
高血圧症予備群（女性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



8-① 脂質異常症有病者（男性）

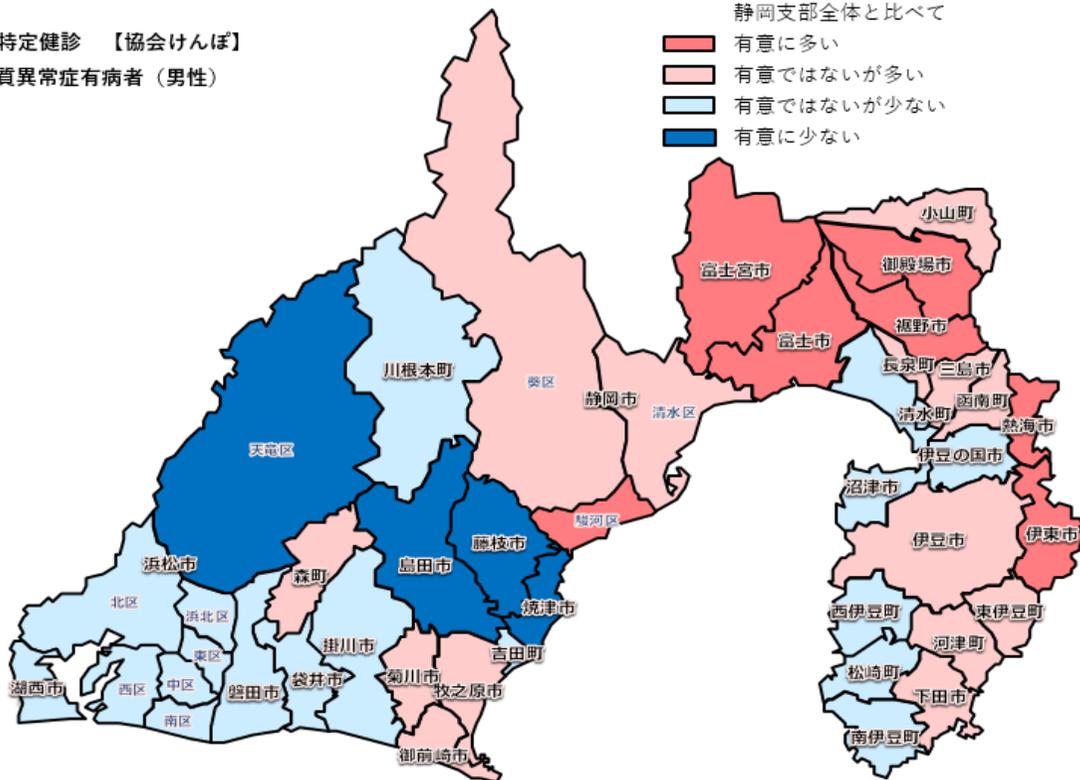
◆協会：該当率は58.10% 前年度比+2.01%であり、増加率が昨年の+1.53%である。昨年同様傾向に変化は見られない。該当率は沼津市は58.09%と、協会の平均値に近いが、増加率は+2.28%、浜松市では東区+3.04%、南区+2.27%、北区で+2.53%、浜北区で+2.47%と有意ではないが全県に比べて少ない市町も増加率が平均よりも高くなっている。静岡県全体と傾向は似ているが、有意に少ない市町数が少ない。

◆静岡県全体：該当率が58.29% 前年度比+1.96%で、該当率、増加率ともに協会とほぼ同じである。中部地域を境に二極化の傾向にある。

R2特定健診 【協会けんぽ】
脂質異常症有病者（男性）

静岡県支部全体と比べて

- 有意に多い
- 有意ではないが多い
- 有意ではないが少ない
- 有意に少ない

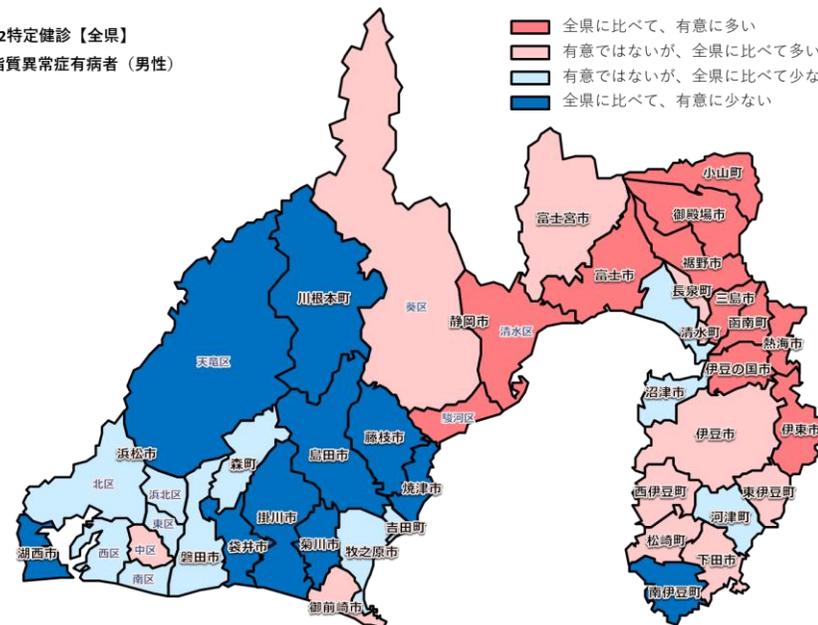


R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
脂質異常症有病者（男性）

全県に比べて、有意に多い

- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



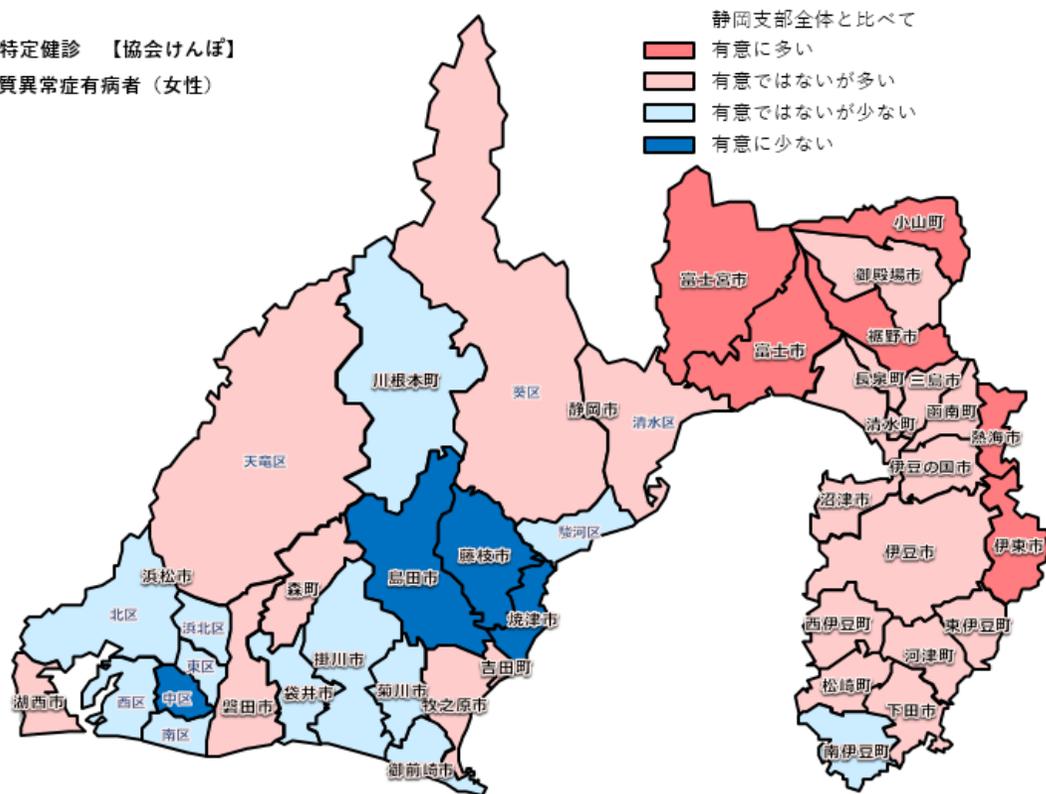
8-② 脂質異常症有病者（女性）

◆協会：該当率は45.65% 該当率は県全体より約6%低い。前年度比+2.24%であり、増加率が昨年の+2.31%である。昨年度より有意に多いまたは有意に少ない市町が減少している。東部地域が全県に比べて多い市町となっている。増加率が静岡市駿河区+3.13%、浜松市中区+3.21%、西区+3.74%、北区+4.52%、浜北区で3.31%と、全県に比べて少ない市町の増加率が高くなっている。いわゆる有意ではないが多い市町が、全体に広がっている。

◆静岡県全体：該当率が51.67% 前年度比+1.61%で、協会の増加率より低い。有意に少ない市町が中部地域を中心に固まっている。

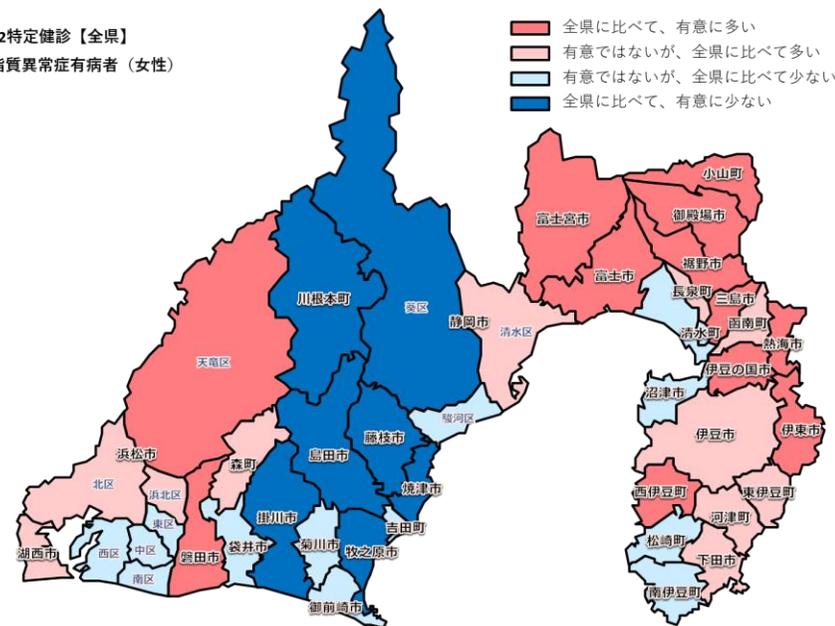
R2特定健診 【協会けんぽ】

脂質異常症有病者（女性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
脂質異常症有病者（女性）



9-① 習慣的喫煙者（男性）

◆協会：該当率は39.68% 静岡県全体との差が7.87% →7.27%と差が縮まっている。前年度比-0.61%であり、昨年度より増加率は-0.19%である。協会の方が増加率が低い。初めて喫煙率が40%を切った。有意に多い市町も、該当率は0.2~0.5%減少している。しかし、有意ではないが多い清水区が増加率-1.05%、有意に少ない中区-1.63% 西区-1.0% 北区-1.17% 藤枝市が-0.99%と特に有意に少ない市町の減少率が高い。そのため、今後女性のようにさらに二分化していく可能性がある。

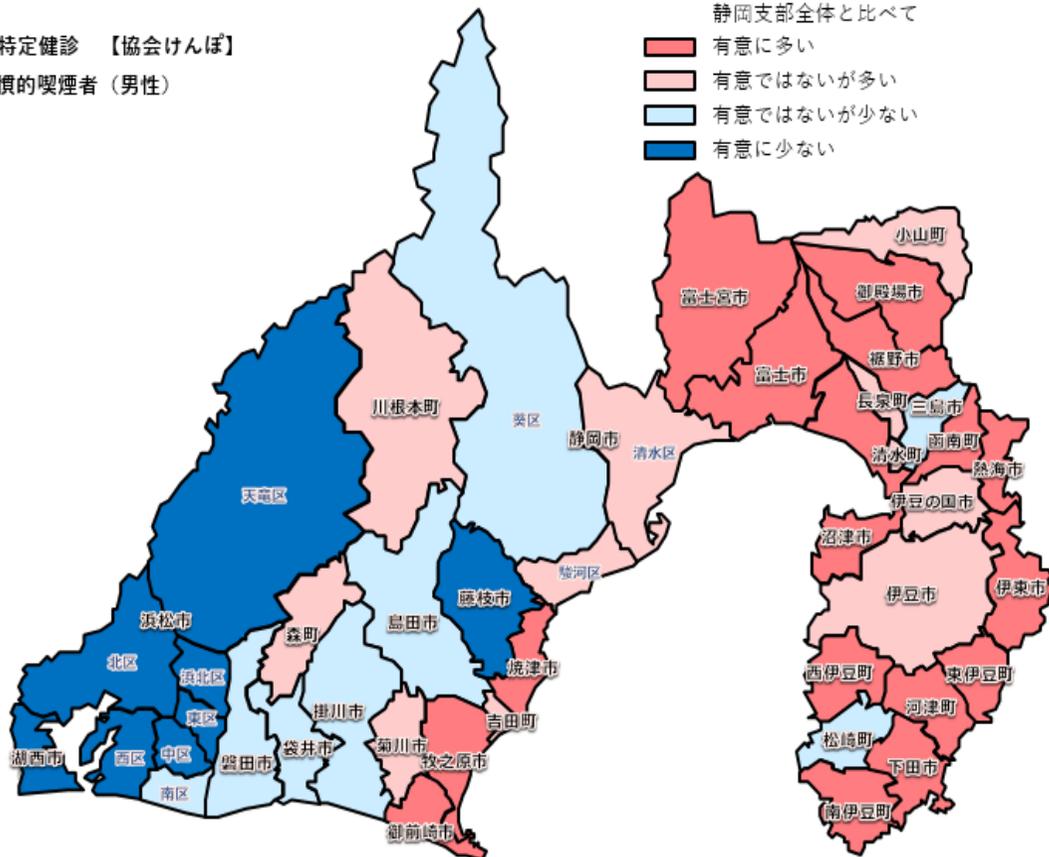
◆静岡県全体：該当率が32.41% 前年度比-0.01%で、横ばい状態であり、協会と似た傾向にある。

R2特定健診 【協会けんぽ】

習慣的喫煙者（男性）

静岡支部全体と比べて

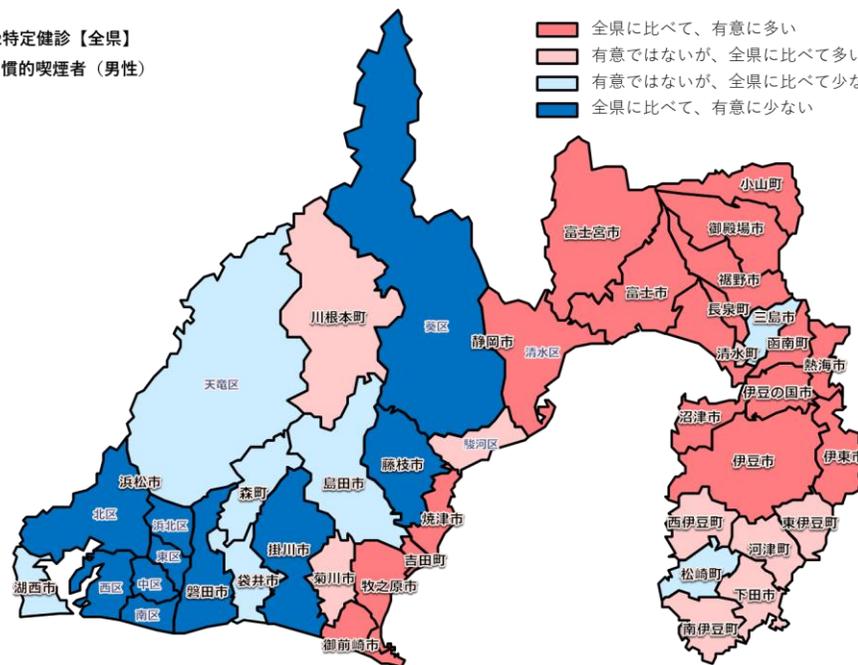
- 有意に多い
- 有意ではないが多い
- 有意ではないが少ない
- 有意に少ない



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
習慣的喫煙者（男性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



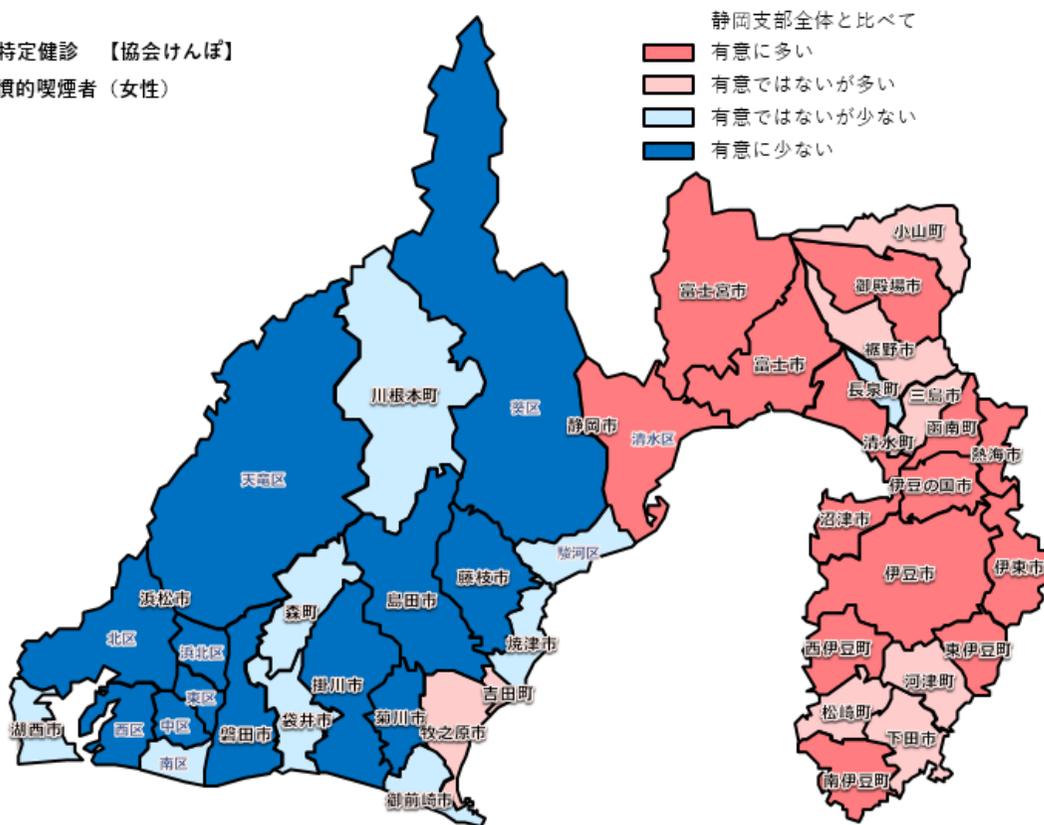
9-② 習慣的喫煙者（女性）

◆協会：該当率は12.96% 県との差が4.62% →4.38%と差が縮まっている。前年度比-0.18%であり、昨年度より増加率は-0.28%である。ただし、男性より減少率が小さい。初めて喫煙率が13%を切った。有意に多い清水区、沼津市も、該当率は-0.11%、-0.14%である。また、中区-0.7% 浜北区-0.34% 磐田市が-0.21%と特に有意に少ない市町の減少率が高い。

◆静岡県全体：該当率が8.58% 前年度比+0.06%で、横ばい状態であり、協会の方が増加率が低い。協会と同じ結果の市町も多数存在しており、似た傾向にある。

R2特定健診 【協会けんぽ】

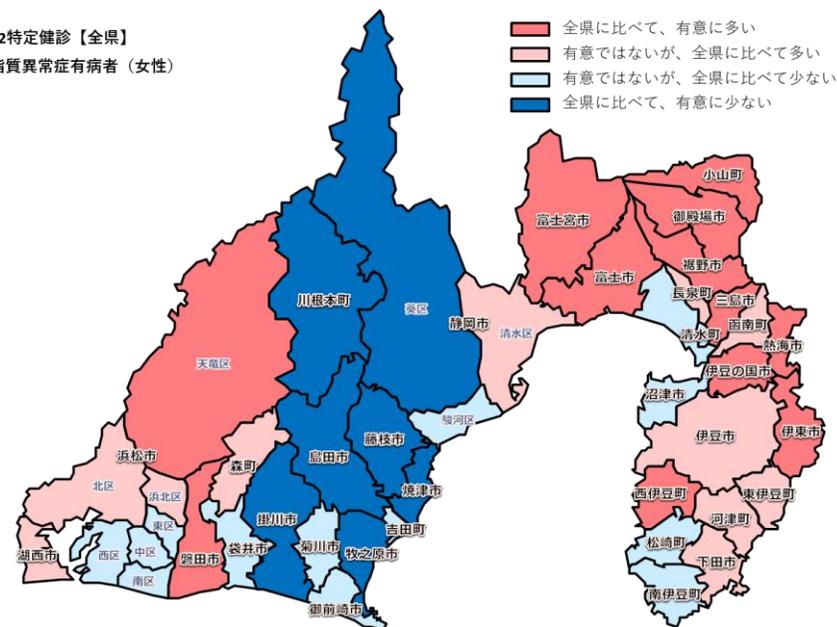
習慣的喫煙者（女性）



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】

脂質異常症有病者（女性）



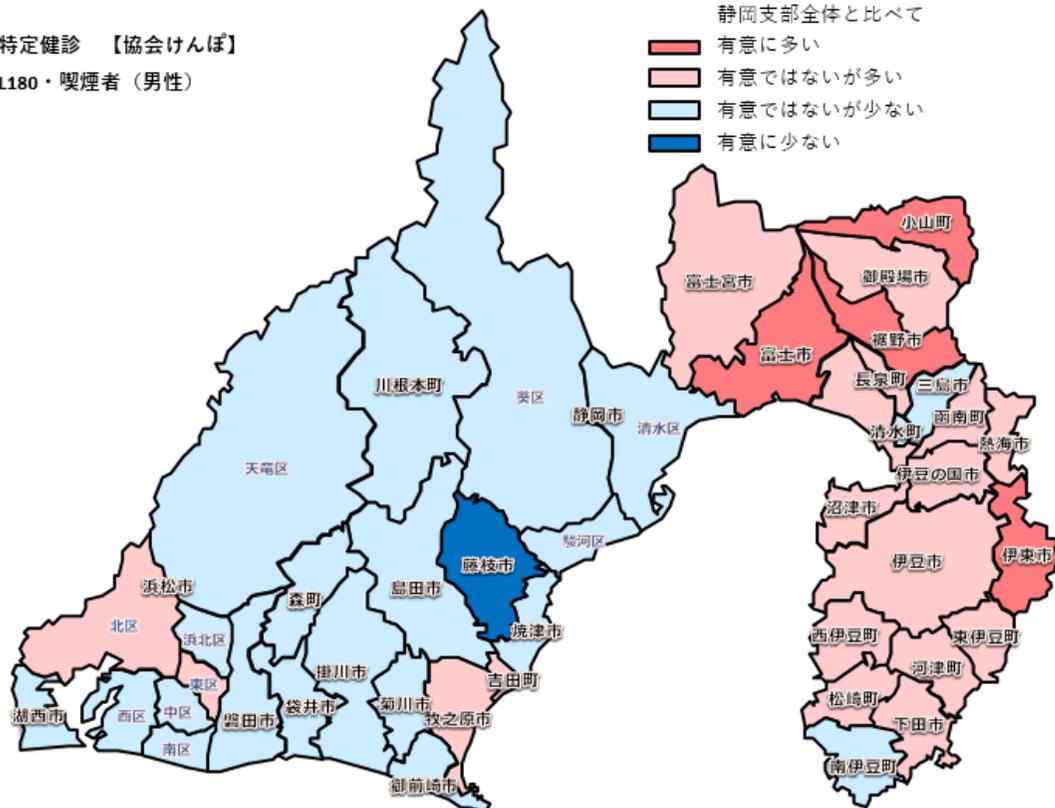
10-① LDL180mg/dl以上かつ喫煙（男性）

◆協会：該当率は2.57%で、前年度比+0.52%である。東部～伊豆地域に有意または有意ではないが多い市町が固まっている。逆に有意ではないが少ない地域が、清水区以西に広がっている。全ての地域で平均化しているが、昨年度よりは、有意に多い市町が、増えている。

R2特定健診 【協会けんぽ】

LDL180・喫煙者（男性）

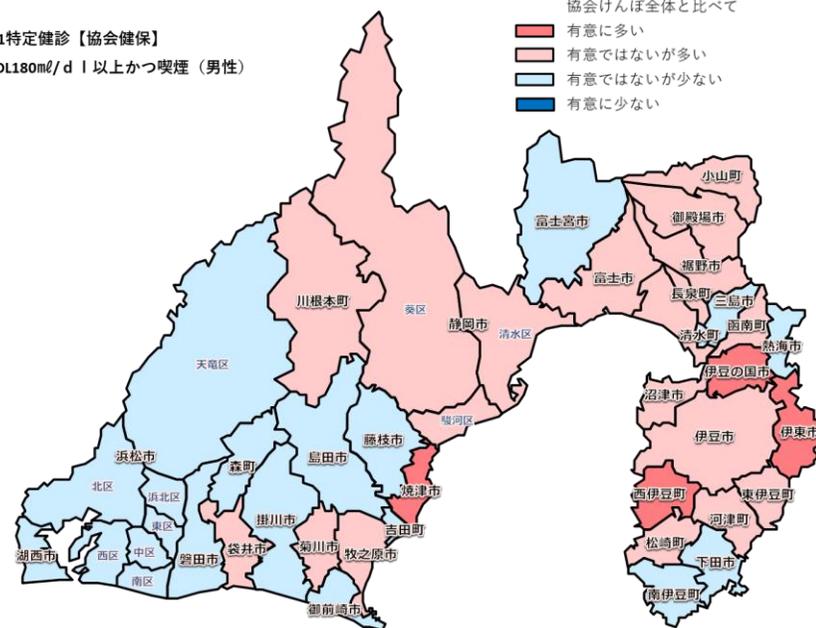
- 静岡支部全体と比べて
- 有意に多い
 - 有意ではないが多い
 - 有意ではないが少ない
 - 有意に少ない



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【協会健保】
LDL180mg/d以上かつ喫煙（男性）

- 協会けんぽ全体と比べて
- 有意に多い
 - 有意ではないが多い
 - 有意ではないが少ない
 - 有意に少ない

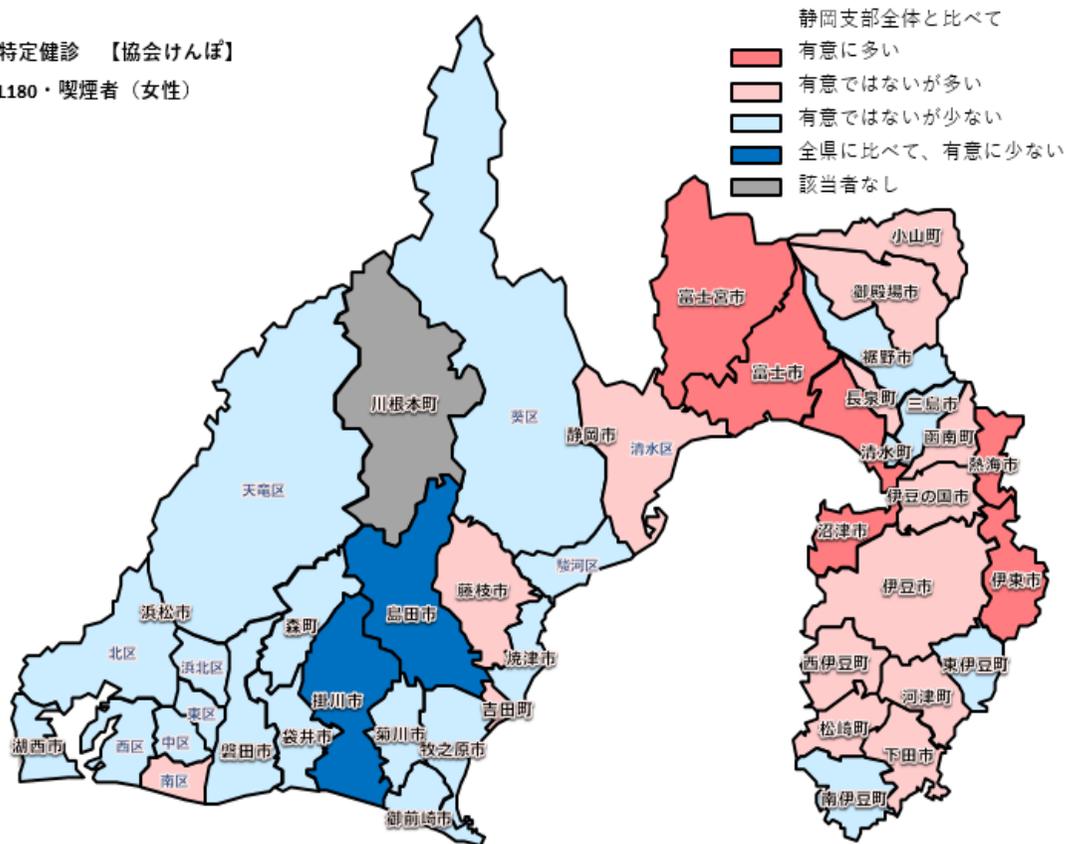


10-② LDL180mg/dl以上かつ喫煙（女性）

◆協会：該当率は0.72%で、前年度比+0.52%である。清水区以東に有意または有意ではないが多い市町が固まっている。有意ではないが少ない地域が、清水区以西に広がっている。全ての地域で平均化しているが、昨年度よりは、有意に多い市町が、増えている。

R2特定健診【協会けんぽ】

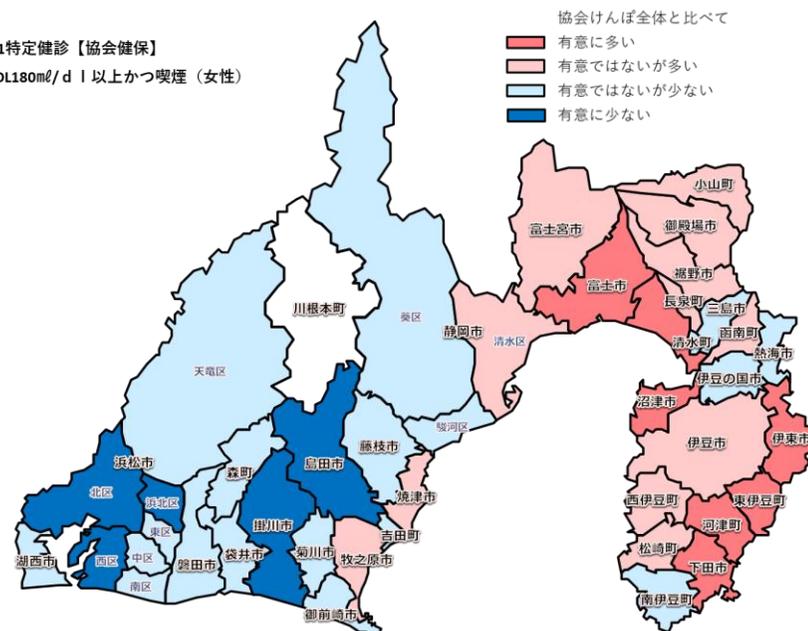
LDL180・喫煙者（女性）



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R1特定健診【協会健保】

LDL180mg/dl以上かつ喫煙（女性）



11-① 尿蛋白+以上該当者（男性）

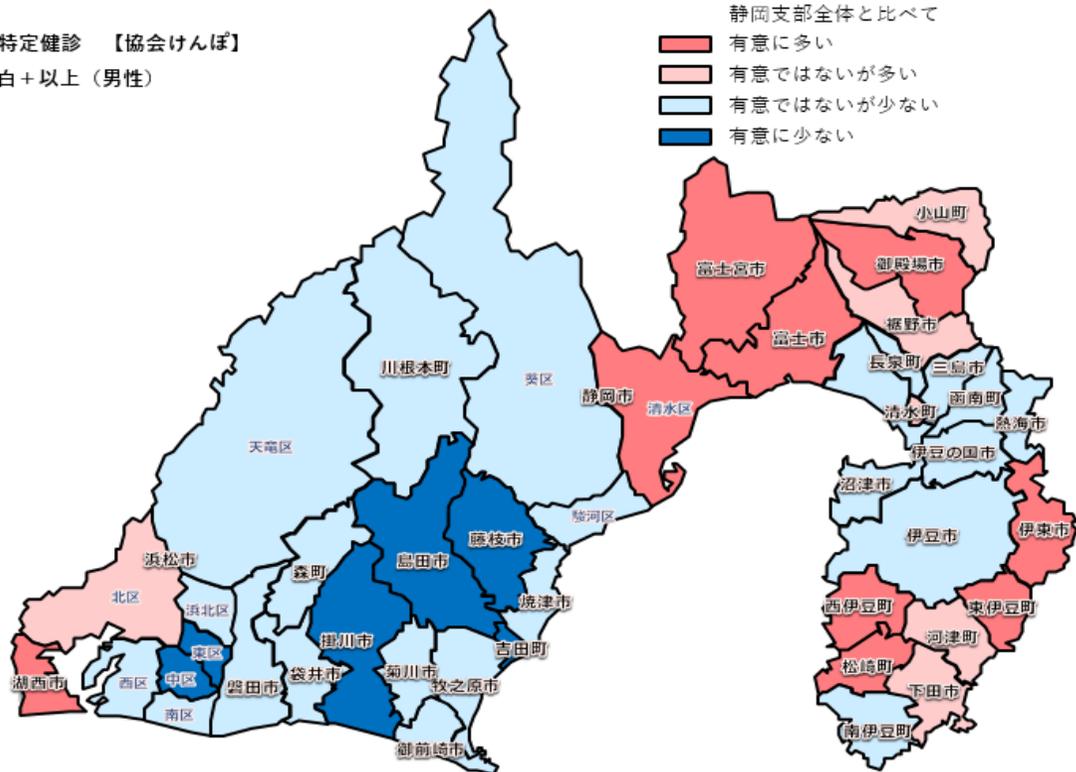
◆協会：該当率は3.90%で、対前年度-0.31%（該当者数は-577人）となっている。有意に高い清水区、富士宮市、富士市、御殿場市は前年度も有意に多かったが、富士宮市が対前年+0.36%であった以外は減少していた。静岡県全体と同様に葵区以西では全県に比べて少ない市町が多い。清水区以東に有意に多い市町が多くある。有意に少ない市町が散らばっている。

◆静岡県全体：該当率は4.07%と対前年度比-0.22%で、協会とほぼ同率である。協会より二極化している。

R2特定健診 【協会けんぽ】
蛋白+以上（男性）

静岡県全体と比べて

- 有意に多い
- 有意ではないが多い
- 有意ではないが少ない
- 有意に少ない

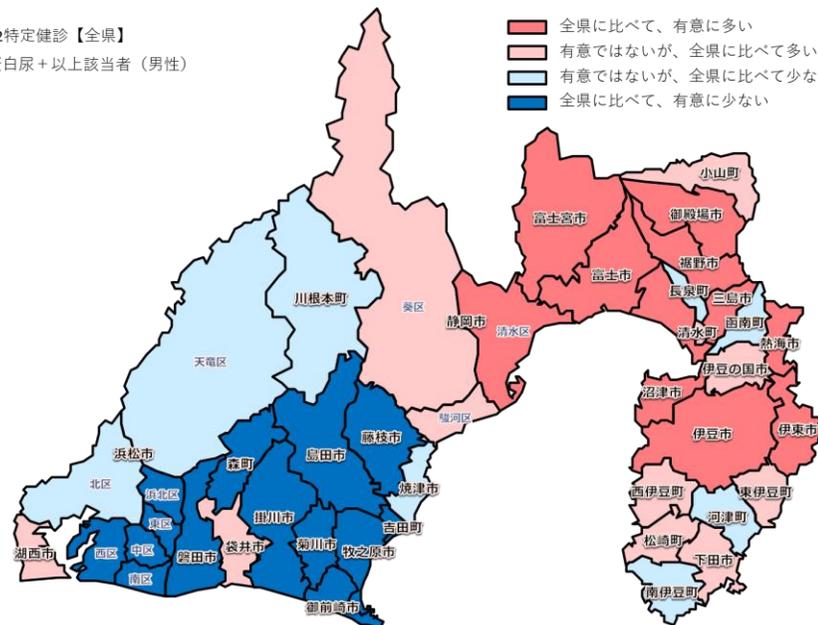


R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
蛋白尿+以上該当者（男性）

全県に比べて、有意に多い

- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



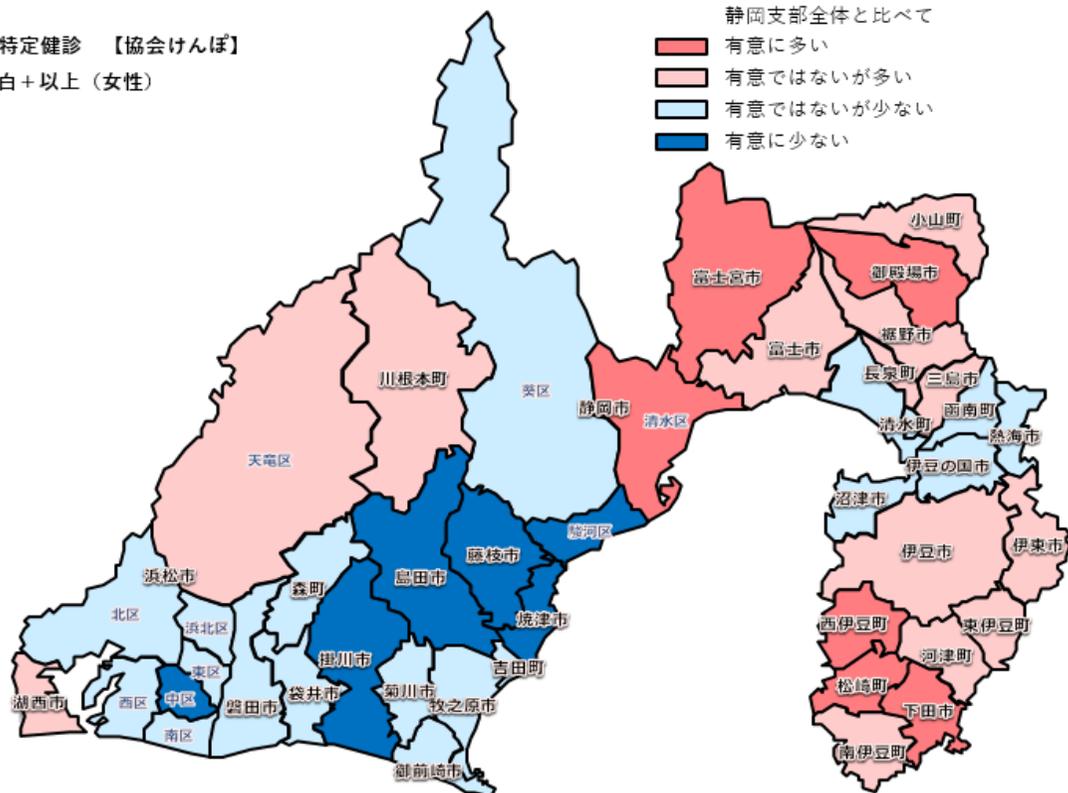
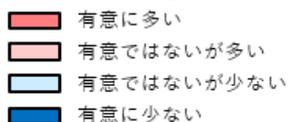
11-② 尿蛋白+以上該当者（女性）

◆協会：該当率は1.41%で、対前年度-0.24%（該当者数は-381人）となっている。有意に高い清水区、富士宮市、御殿場市のうち、清水区のみが対前年+0.18%であったが、あとは減少していた。全体的に中西部に全県に比べて少ない地域が多い。協会では袋井市は有意ではないが少ないが、静岡県全体では有意に多い。また下田市も協会だと有意に多いが、静岡県全体だと有意ではないが少ない市町となっている。

◆静岡県全体：1.94%と協会より高い。対前年度-0.14%である。全体的に似た傾向ではあるが、中西部に有意に少ない市町が固まっている。

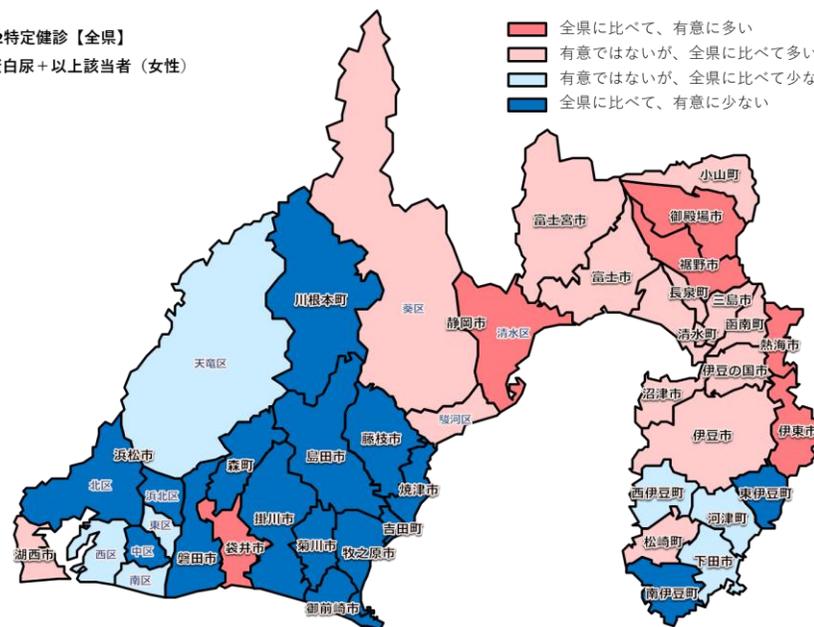
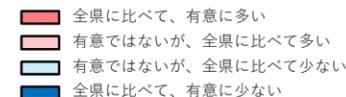
R2特定健診【協会けんぽ】
蛋白+以上（女性）

静岡支部全体と比べて



R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
蛋白尿+以上該当者（女性）

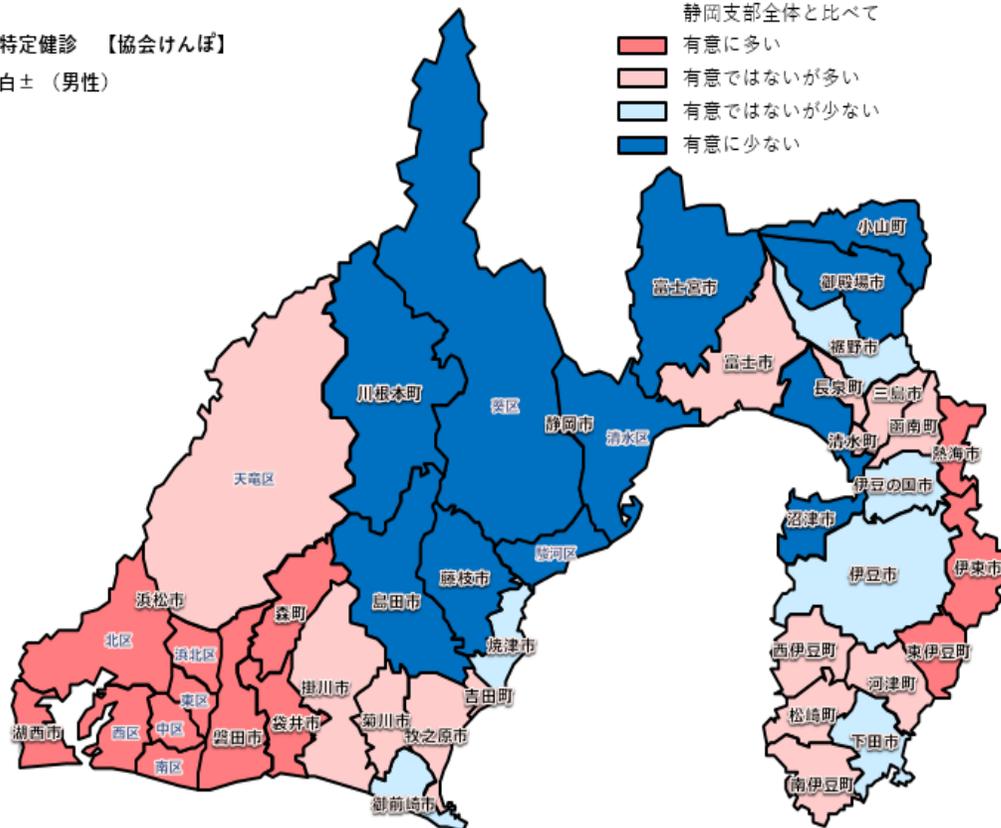


11-③ 尿蛋白±該当者（男性）

◆協会：該当率は7.06%で、尿蛋白（+）以上の1.81倍となる。尿蛋白（+）以上と違い、全県に比べて少ない市町が中東部に多く、逆に全県に比べて多い市町が西部に多い。湖西市、伊東市、東伊豆町は尿蛋白（+）以上と同じく全県に比べて多い市町である。全体的に、糖尿病予備群と傾向が似ており、特に西部地域は御前崎市と湖西市以外は全く同じである。糖尿病予備群との関連を調べていく必要がある。

R2特定健診 【協会けんぽ】
蛋白±（男性）

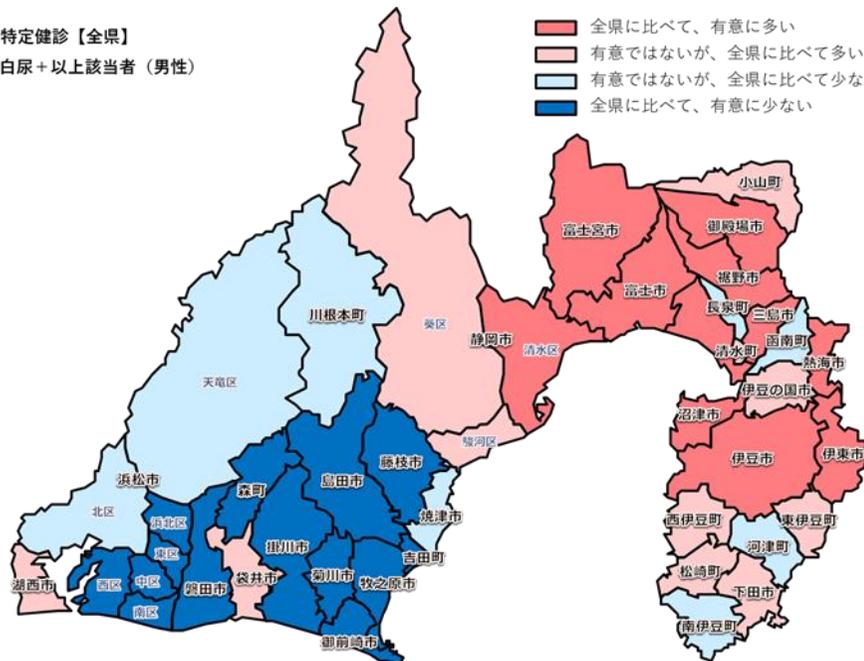
- 静岡支部全体と比べて
- 有意に多い
 - 有意ではないが多い
 - 有意ではないが少ない
 - 有意に少ない



R1 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

R2特定健診【全県】
蛋白尿+以上該当者（男性）

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

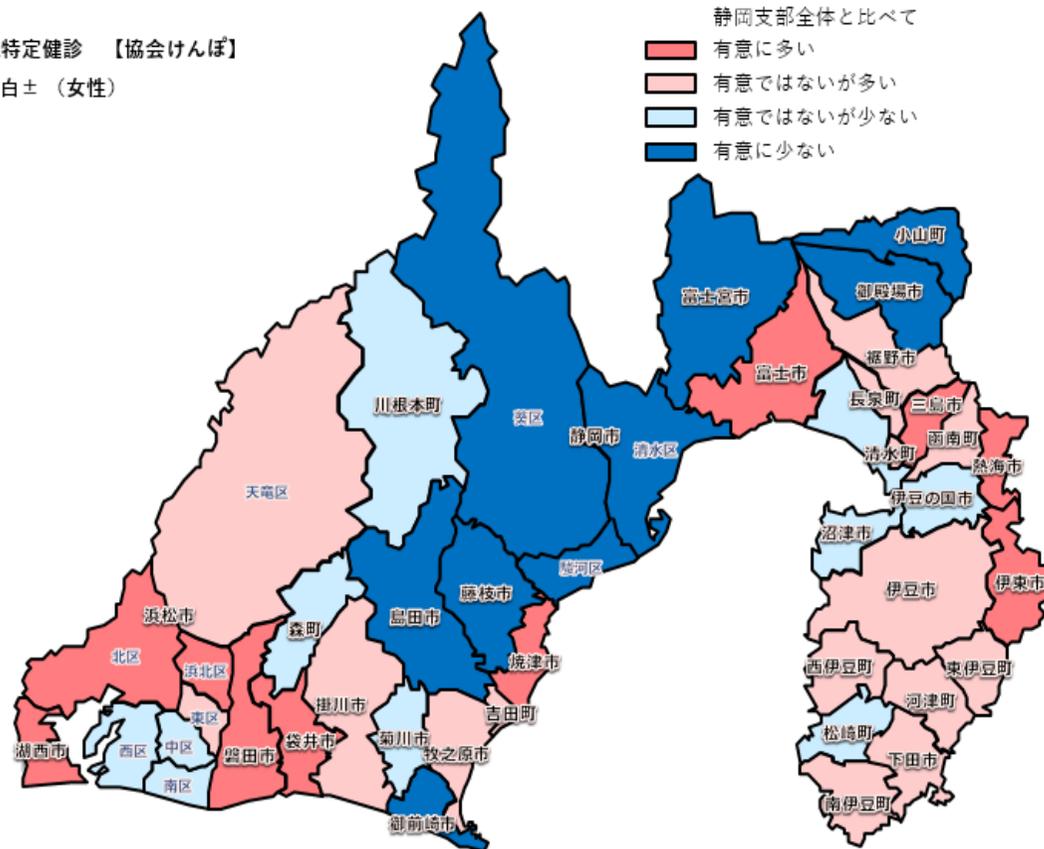


11-④ 尿蛋白±該当者（女性）

◆協会：該当率は3.80%で、尿蛋白（+）以上の2.70倍となる。尿蛋白（+）以上と違い、全県に比べて多い市町が西部にも見られる。清水区・富士宮市、御殿場市が真逆で有意に少なく、焼津市は真逆で有意に多い。また、藤枝市、島田市、駿河区は尿蛋白（+）と全く同じ傾向である。逆に全県に比べて多い市町が西部に多い。西部地域は、糖尿病予備群と傾向が似てはいるが、男性ほどではない。また富士市、熱海市が真逆の傾向となっている。

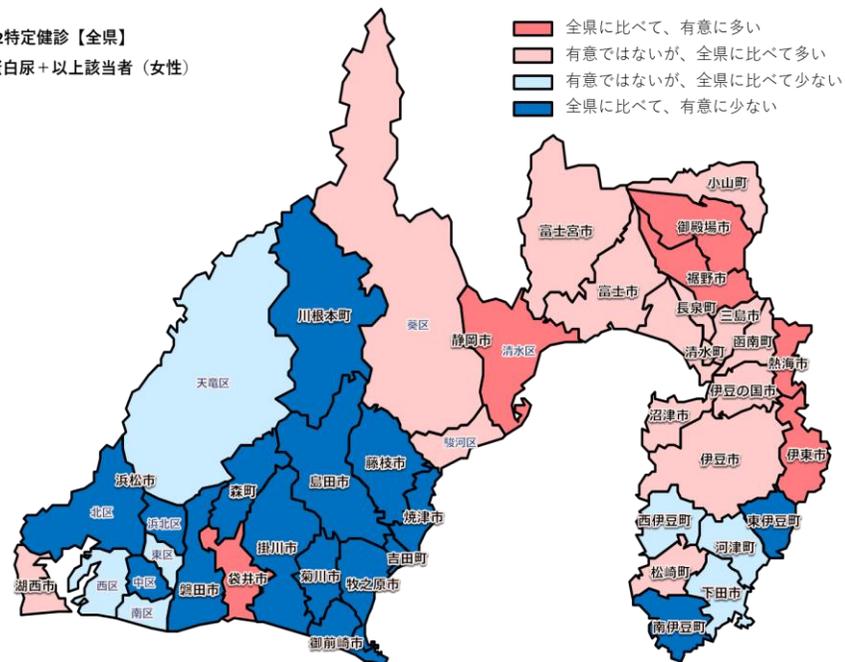
R2特定健診 【協会けんぽ】

蛋白±（女性）

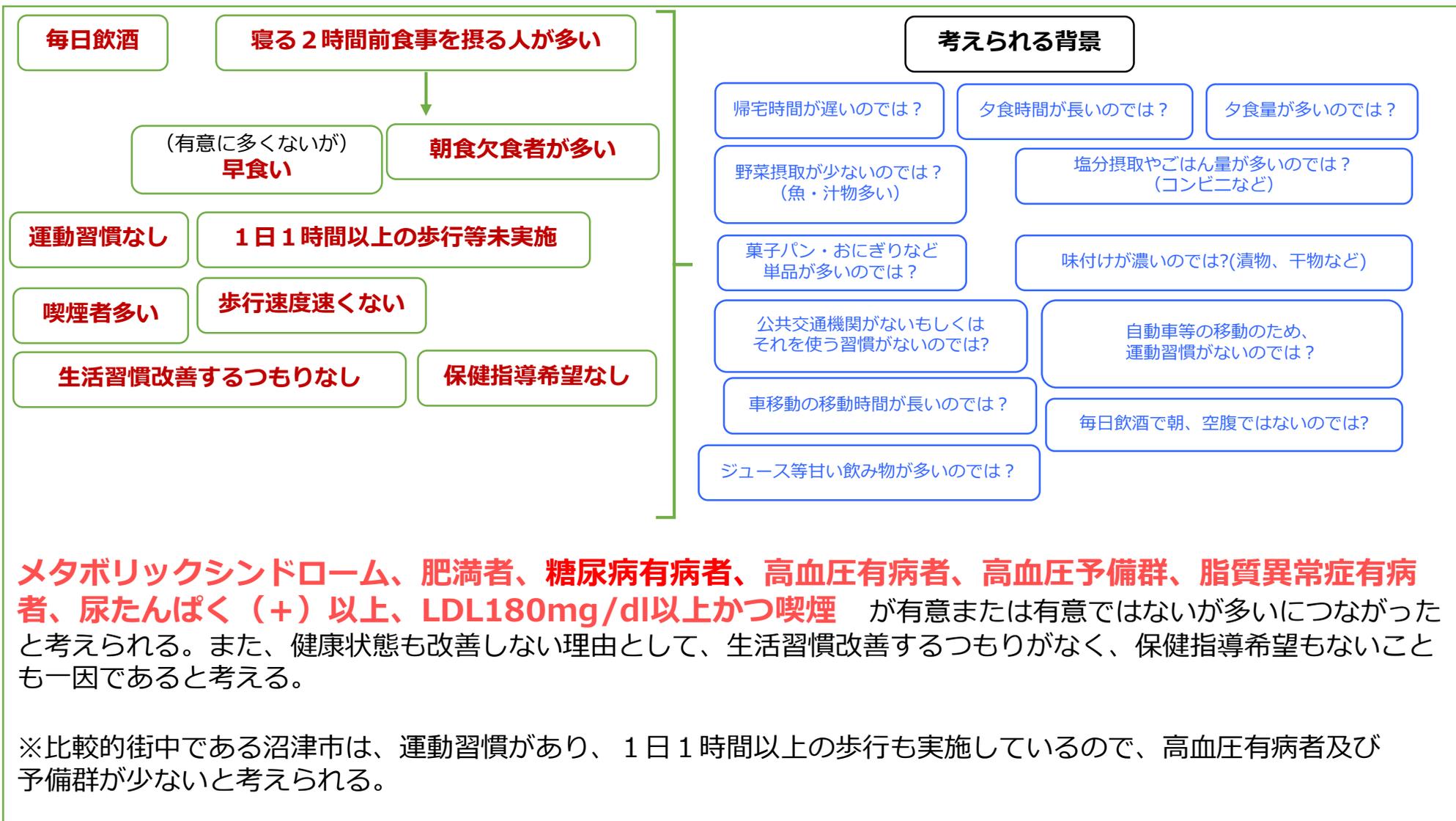


R2 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（抜粋）

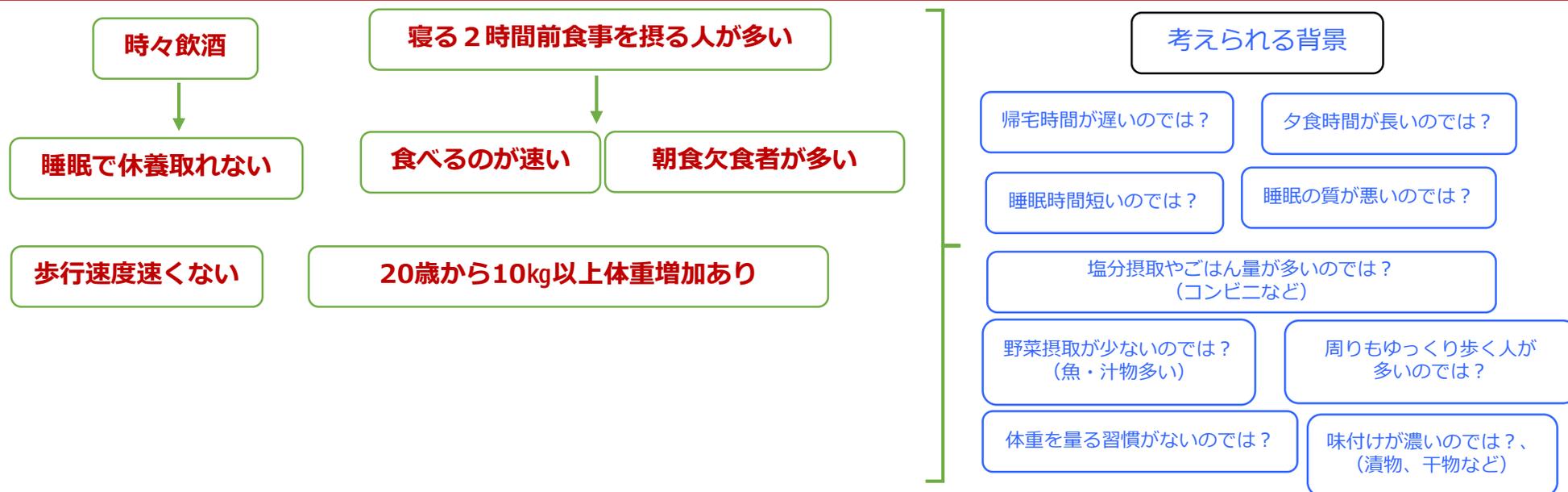
R2特定健診【全県】
蛋白尿+以上該当者（女性）



考察 ◆男性 東部地域（静岡市清水区含む）



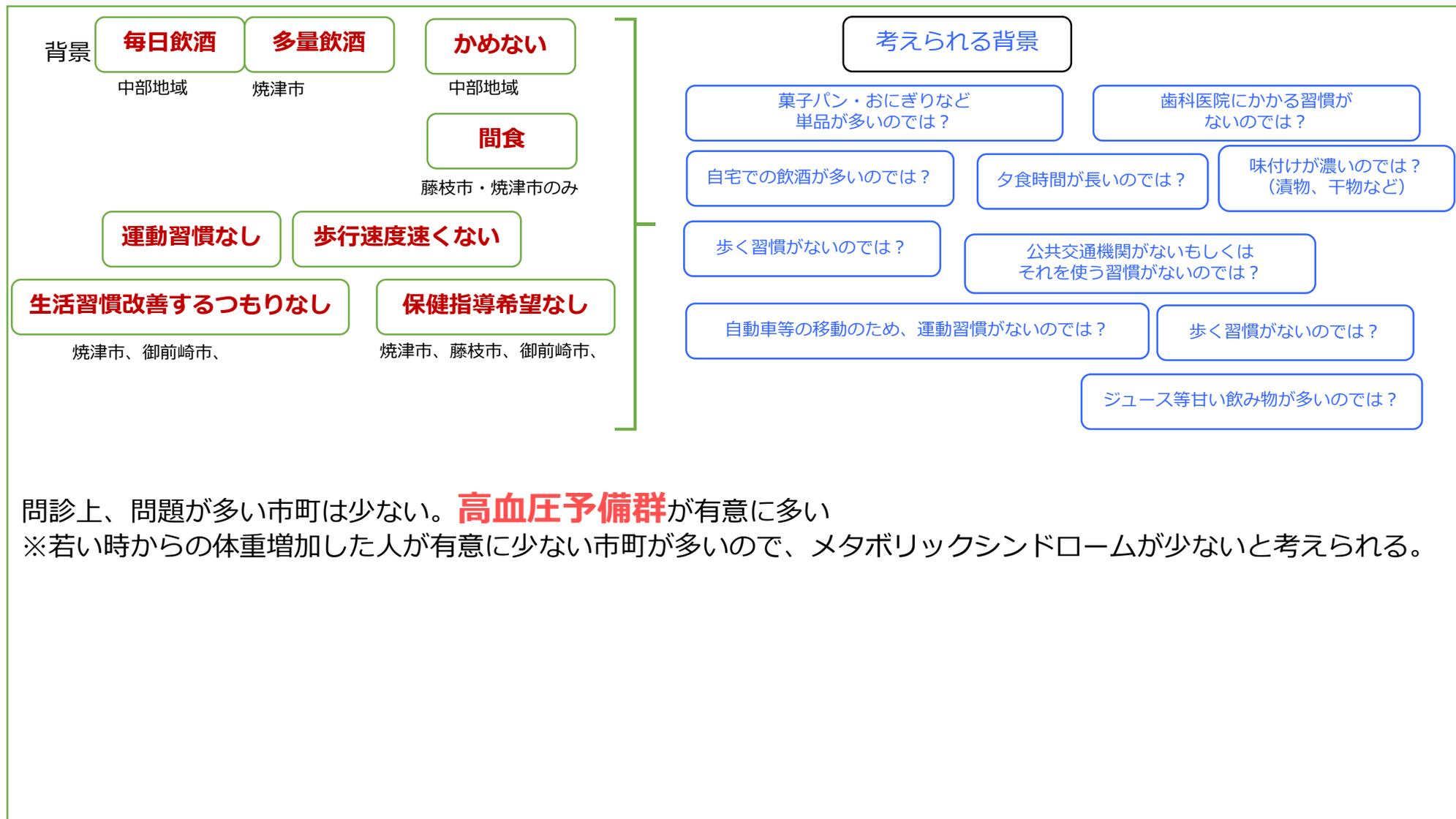
考察 男性 ◆中部地域（静岡市葵区・駿河区）



高血圧有病者、脂質異常症有病者が有意に多いにつながったと考えられる。

※比較的街中であるので、運動習慣があり、1日1時間以上の歩行も実施しているので、メタボリックシンドロームが少ないと考えられる。

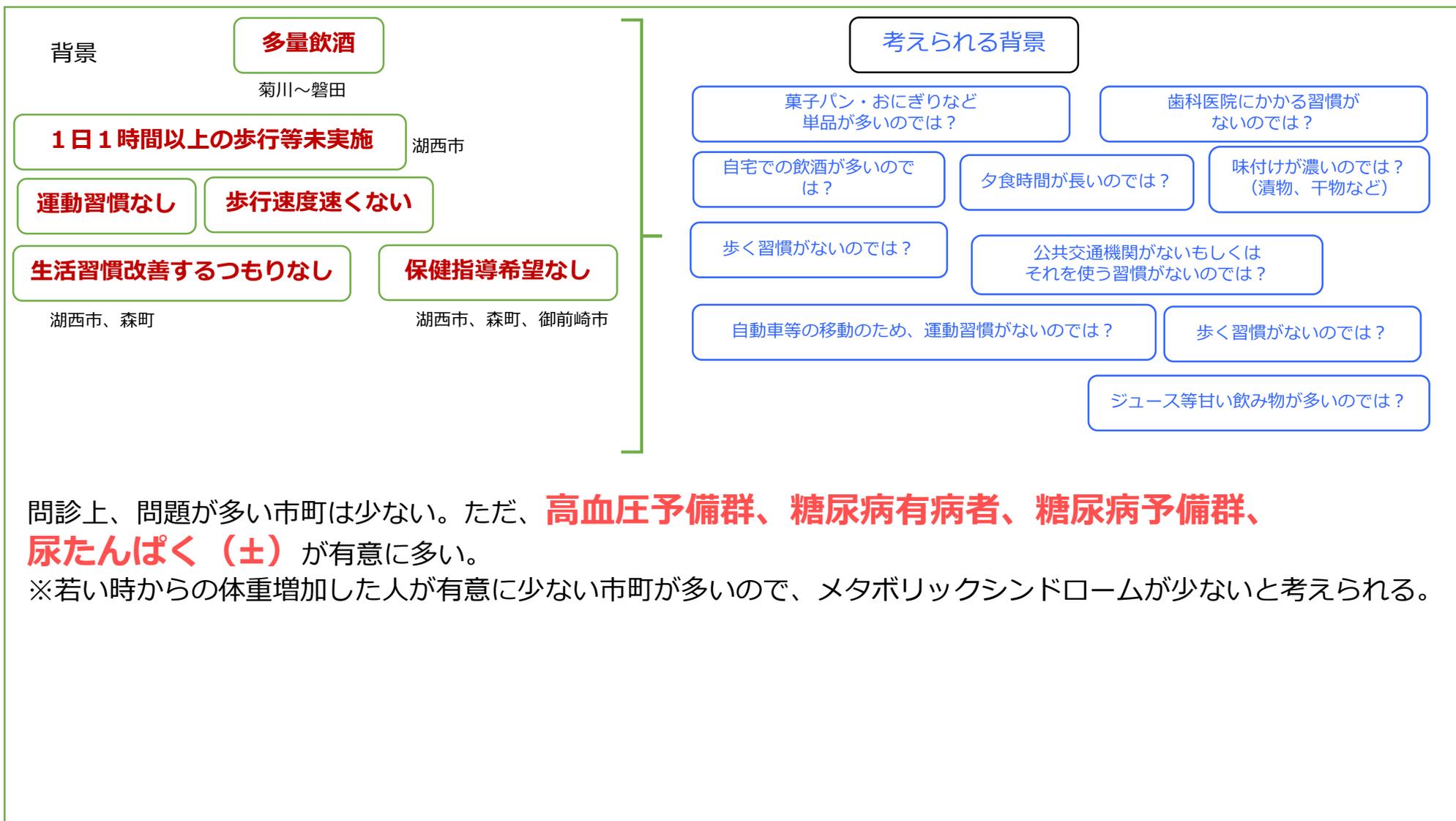
考察 男性 ◆中部西部地域（焼津市～袋井市、森町まで）



問診上、問題が多い市町は少ない。**高血圧予備群**が有意に多い

※若い時からの体重増加した人が有意に少ない市町が多いので、メタボリックシンドロームが少ないと考えられる。

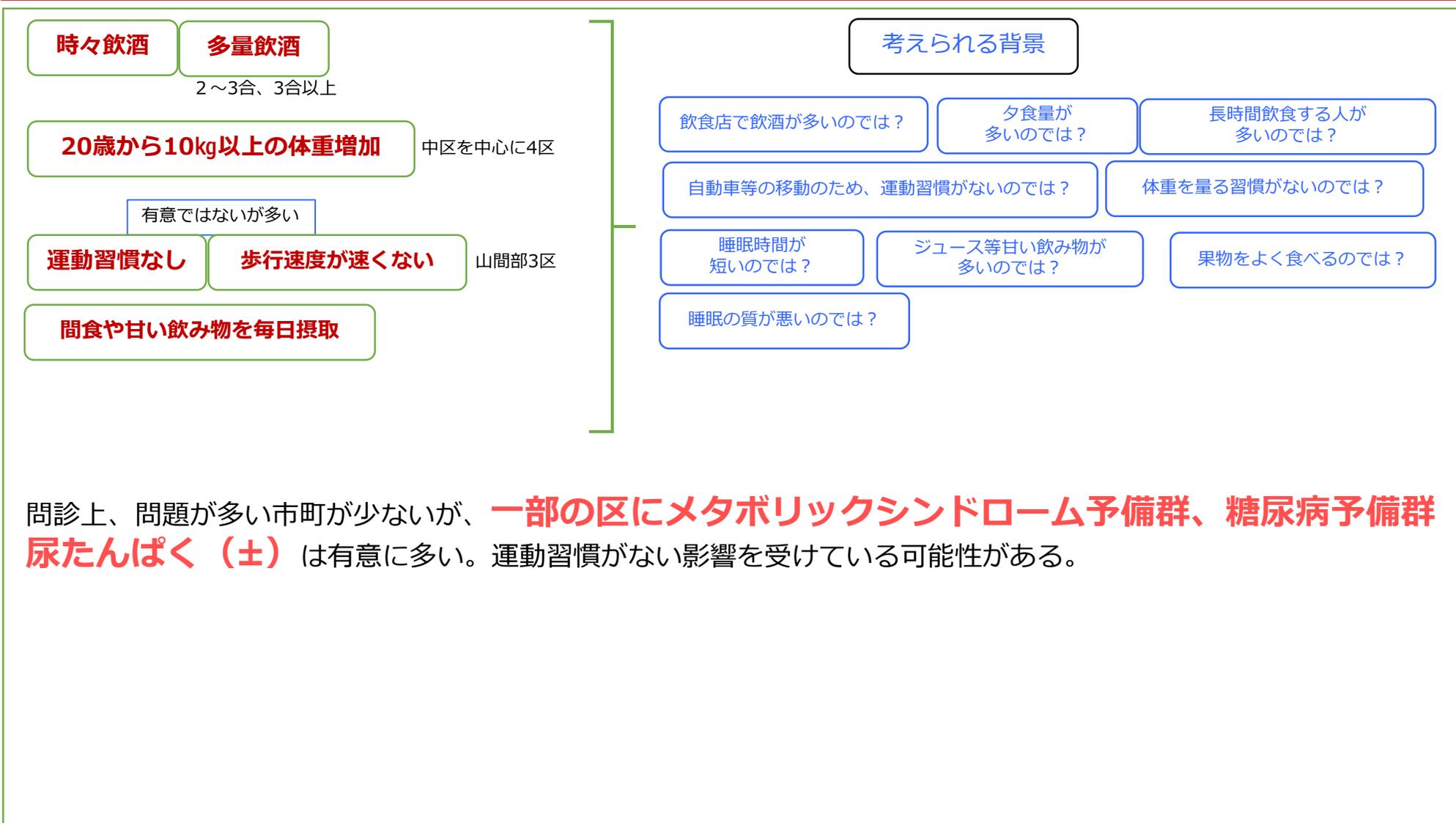
考察 男性 ◆西部地域（磐田市～湖西市：浜松市除く）



問診上、問題が多い市町は少ない。ただ、**高血圧予備群、糖尿病有病者、糖尿病予備群、尿たんぱく（±）**が有意に多い。

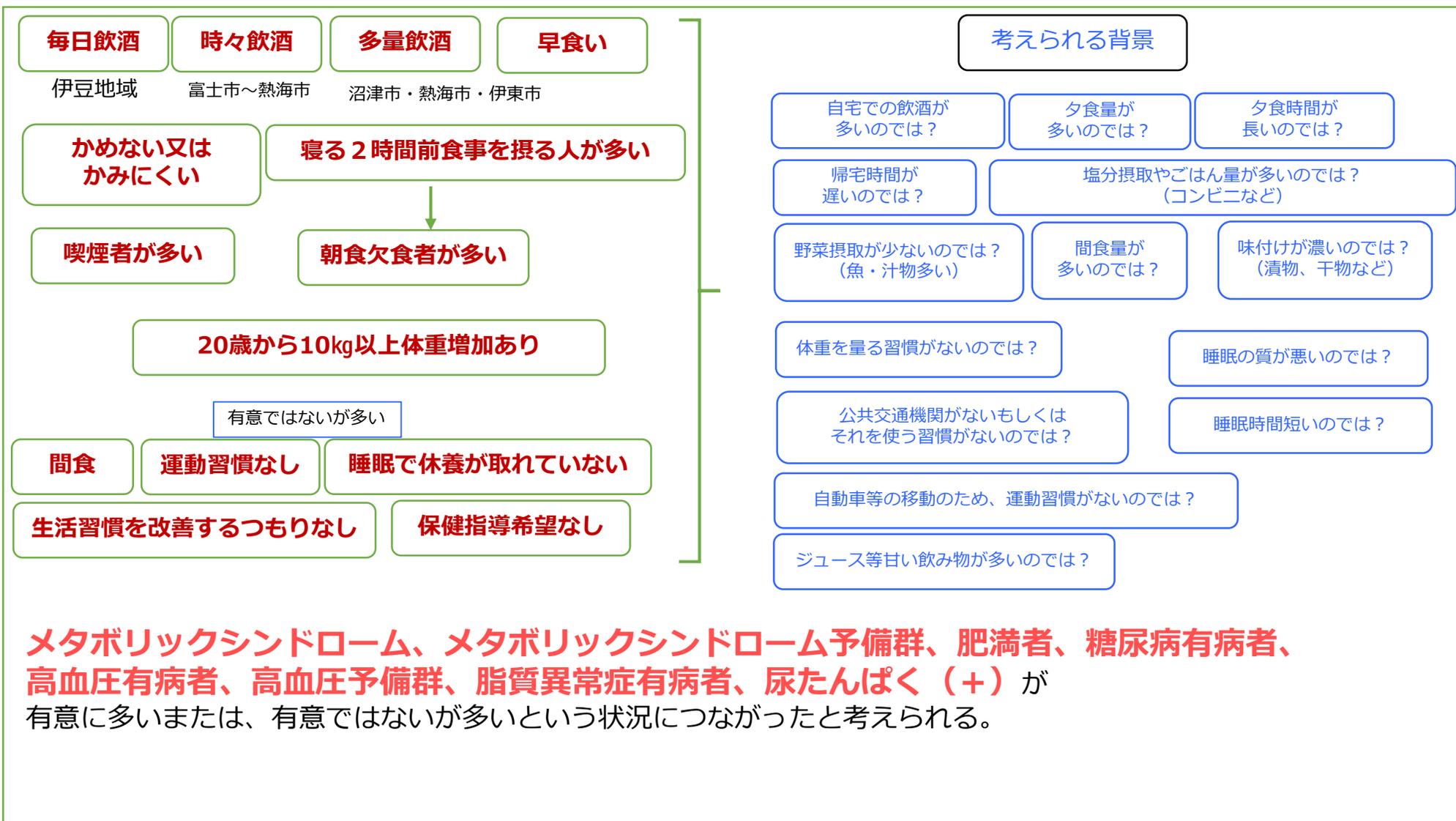
※若い時からの体重増加した人が有意に少ない市町が多いので、メタボリックシンドロームが少ないと考えられる。

考察 男性 ◆西部地域（浜松市）

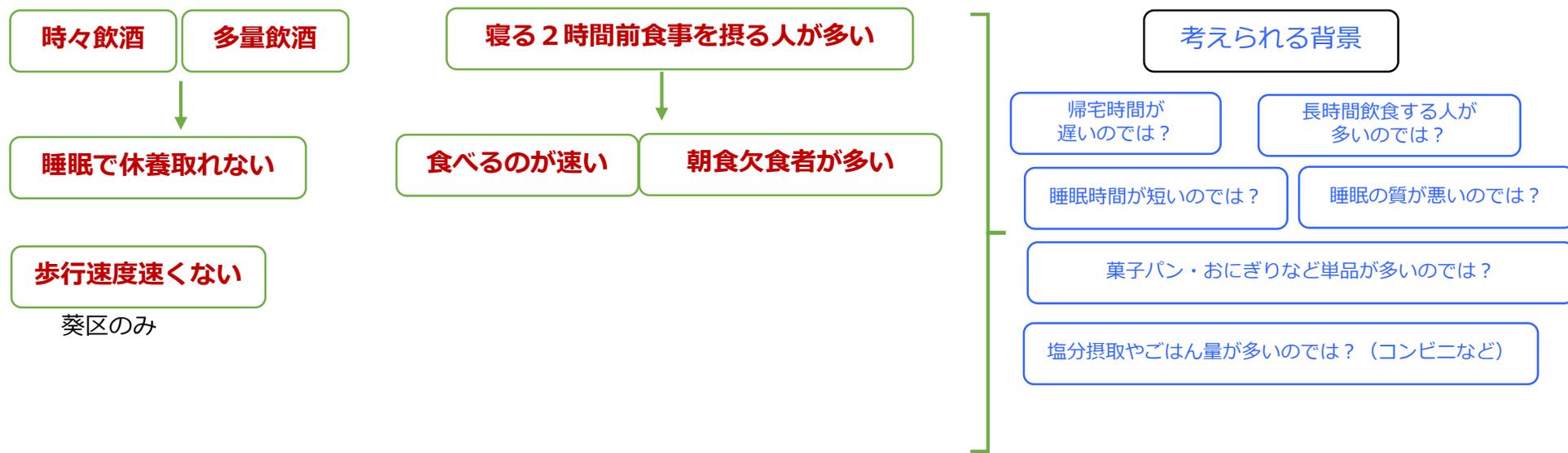


問診上、問題が多い市町が少ないが、**一部の区にメタボリックシンドローム予備群、糖尿病予備群尿たんぱく（±）**は有意に多い。運動習慣がない影響を受けている可能性がある。

考察 女性 ◆東部地域（静岡市清水区含む）

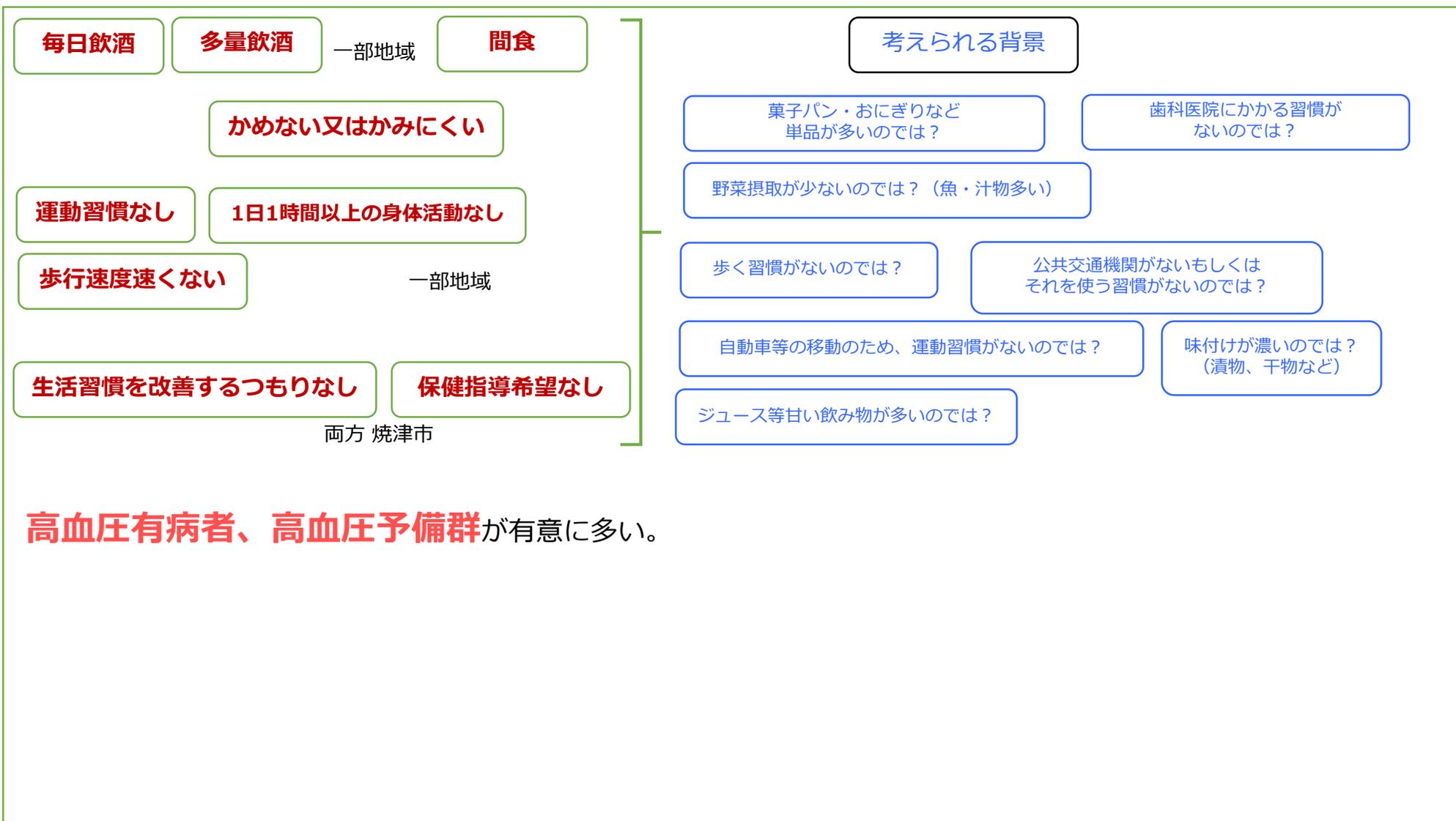


考察 女性 ◆中部地域（静岡市葵区・駿河区）



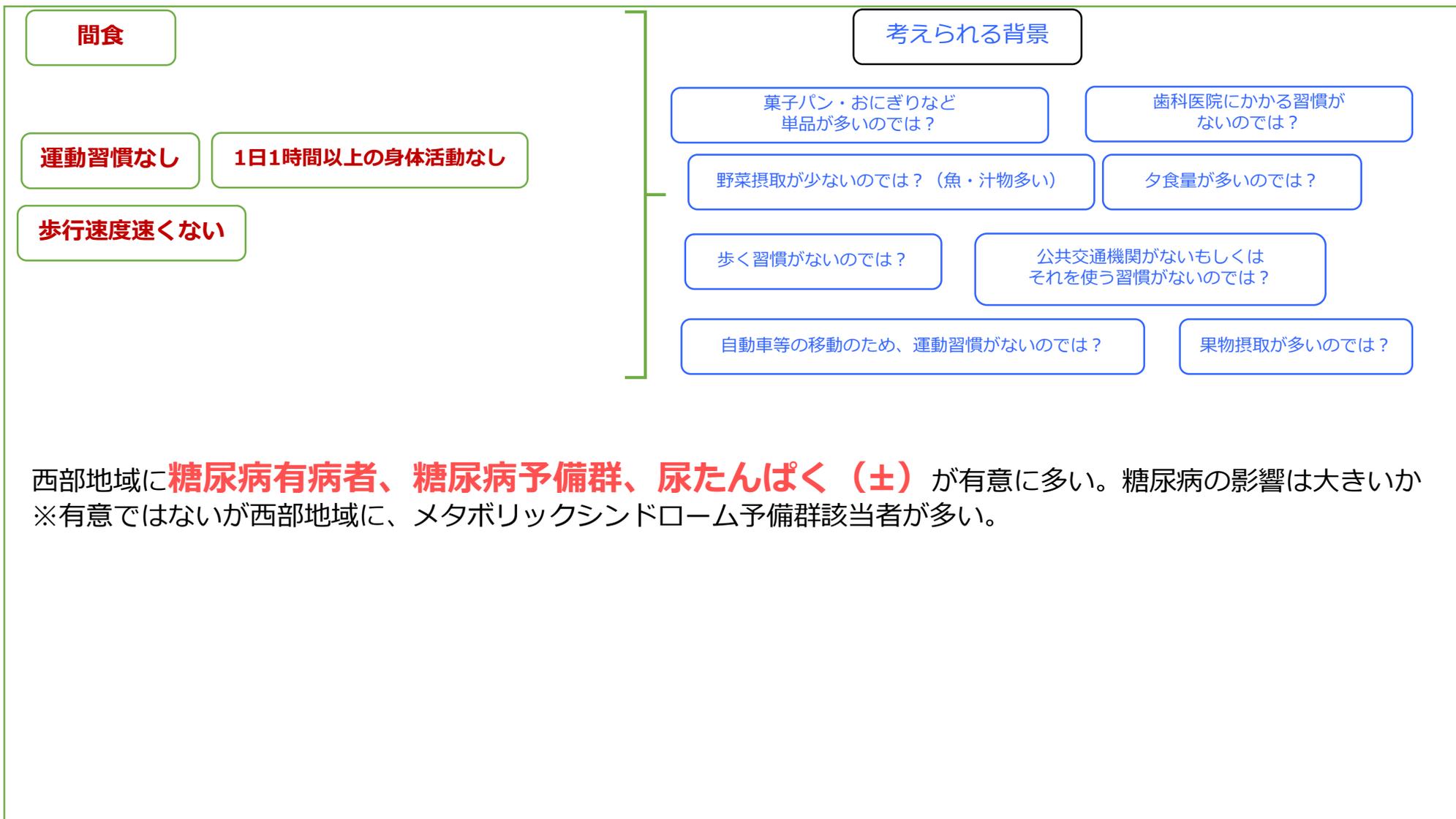
有意に多い疾患はなく、高血圧有病者と、脂質異常症有病者が葵区のみ有意ではないが多かった。
※比較的街中であるので、運動習慣があり、1日1時間以上の歩行も実施しているので、健康状態が良いのではないかと考えられる。

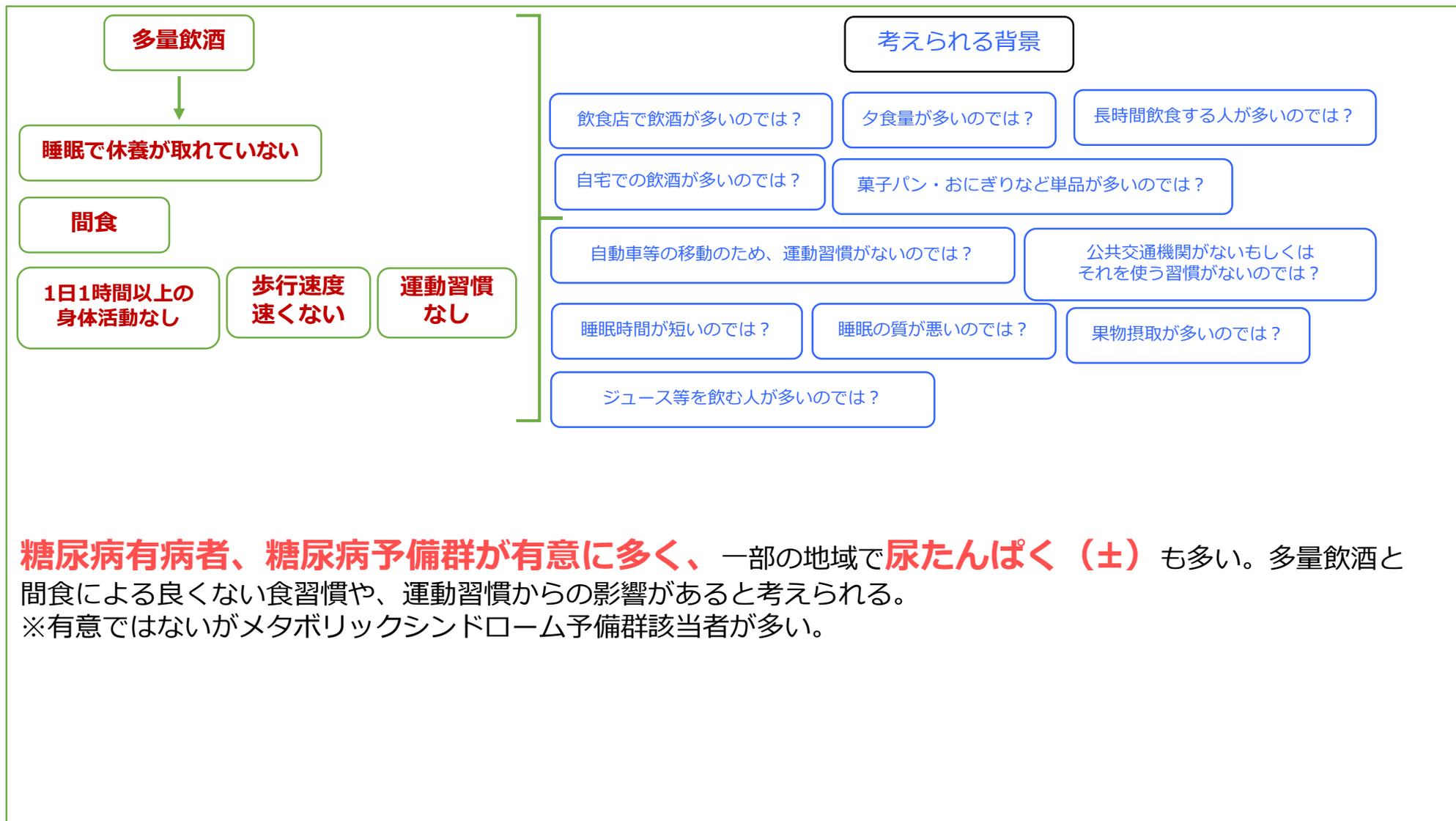
考察 女性 ◆中部地域（焼津市～袋井市、森町まで）



高血圧有病者、高血圧予備群が有意に多い。

考察 女性 ◆西部地域（磐田市～湖西市：浜松市除く）





糖尿病有病者、糖尿病予備群が有意に多く、一部の地域で**尿たんぱく（±）**も多い。多量飲酒と間食による良くない食習慣や、運動習慣からの影響があると考えられる。
※有意ではないがメタボリックシンドローム予備群該当者が多い。